

2023 年度エコ（環境）に関する市民アンケート調査結果

町田市民を対象に実施した環境に関するアンケート調査の結果です。

1 調査の概要

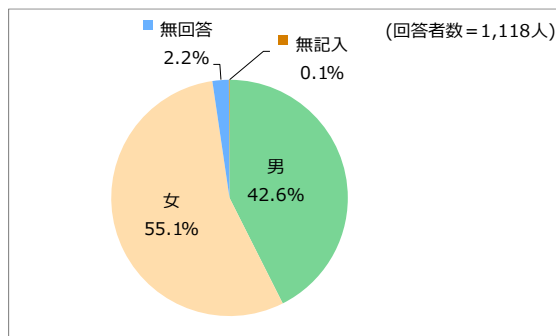
<アンケート調査概要>

調査地域	町田市全域
調査対象	満 15 歳から 80 歳までの町田市在住者
調査方法	郵送による配布、回収
抽出方法	住民基本台帳（2023 年 3 月 1 日現在）より無作為抽出
配布数	3,000 部
回収数	1,118 部（37.3%）
調査期間	2023 年 4 月 3 日から 4 月 26 日

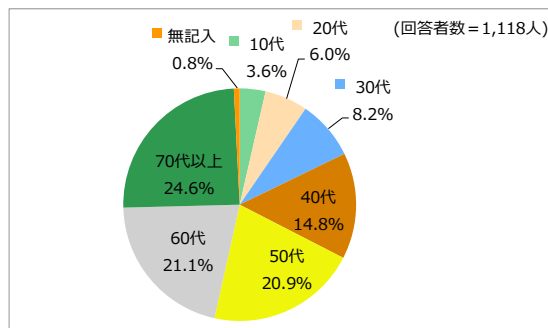
2 調査結果

2.1 回答者の属性

(1) 回答者の性別



(2) 回答者の年代



(3) 回答者の居住地

<回答者の居住地一覧（五十音順）>

No.	町名	回答数	No.	町名	回答数	No.	町名	回答数
1	相原町	37	20	真光寺町	3	39	広袴	8
2	旭町	18	21	函師町	16	40	広袴町	2
3	大蔵町	25	22	忠生	16	41	藤の台1丁目、2丁目	2
4	小川	37	23	玉川学園	47	42	本町田	58
5	小野路町	5	24	つくし野	21	43	南大谷	31
6	小山ヶ丘	32	25	鶴川	32	44	南つくし野	13
7	小山田桜台	8	26	鶴間	21	45	南成瀬	29
8	小山町	50	27	常盤町	9	46	南町田	30
9	金井	36	28	中町	20	47	三輪町	15
10	金井ヶ丘	22	29	成瀬	22	48	三輪緑山	18
11	金森	39	30	成瀬が丘	10	49	森野	24
12	金森東	10	31	成瀬台	21	50	薬師台	8
13	上小山田町	16	32	西成瀬	14	51	矢部町	6
14	木曽西	20	33	根岸	4	52	山崎	3
15	木曽東	25	34	根岸町	4	53	山崎町	36
16	木曽町	5	35	能ヶ谷	36	-	無効回答	4
17	高ヶ坂	30	36	野津田町	25	-	無記入	17
18	下小山田町	11	37	原町田	43			
19	真光寺	13	38	東玉川学園	11			
							合計	1,118

※1 町名は、日本郵便株式会社の「郵便番号（町域名）」に従って整理。

※2 無効回答は、郵便番号もしくは町名の記載間違いがあった回答者。

※3 「金井町」「藤の台3丁目」については、回答者0件であったため、居住地一覧から除外。

(4) 回答者の居住地域

<回答者の居住地域一覧>

No.	地域	回答数
1	南地区	181
2	高ヶ坂・成瀬地区	116
3	町田第一地区	43
4	町田第二地区	122
5	玉川学園・南大谷地区	89
6	木曾地区	50
7	忠生地区	129
8	鶴川地区	248
9	小山地区	82
10	相原地区	37
-	無記入	17
-	無効回答	4
合計		1,118

※1 地域は、町内会・自治会連合会の地区連合会のエリアを基本とした10地区に基づき整理。
 ※2 無効回答は、郵便番号もしくは町名の記載間違いがあった回答者。



<10地区 位置図>



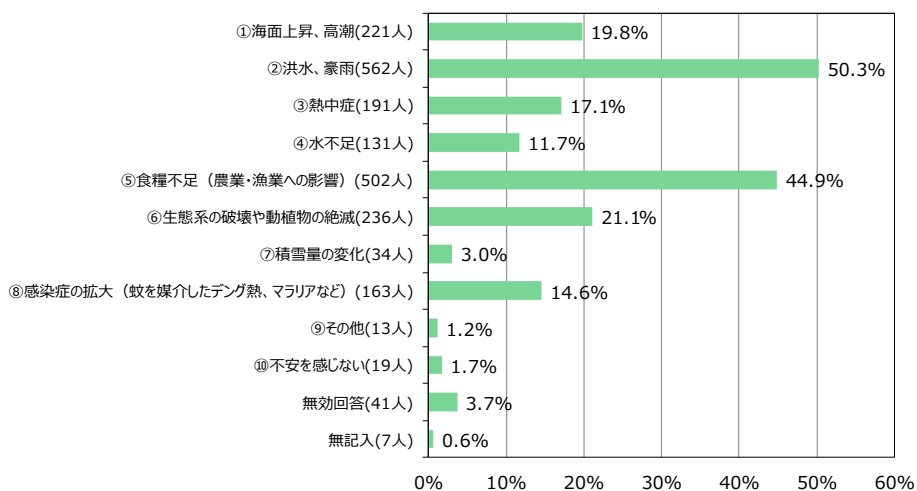
2.2 地球温暖化への対策や気候変動の影響について

(1) 問 1 地球温暖化の影響について

地球温暖化の影響と考えられるもので、あなたが不安に感じることは何ですか（2つまで選択）。

1) 全体

(回答者数=1,118人)



※ 無効回答は、3つ以上の選択をした回答者。

【主なその他意見】

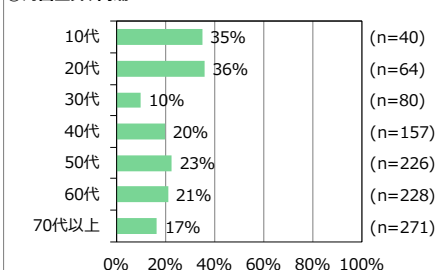
- ・気温の上昇とその影響（電気使用量の上昇等）（6件）
 - ・気象災害の激甚化（台風・暴風）（3件）
- など

【結果の整理】

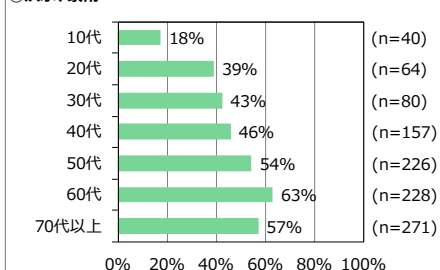
・50.3%の市民が「②洪水、豪雨」に不安を感じています。次いで「⑤食糧不足（農業・漁業への影響）」（44.9%）、「⑥生態系の破壊や動植物の絶滅」（21.1%）が多く選ばれています。

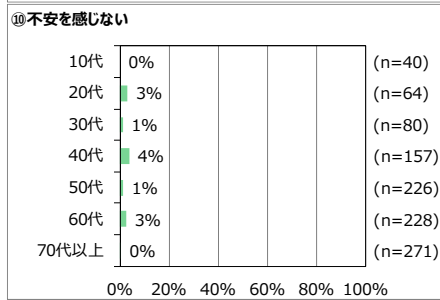
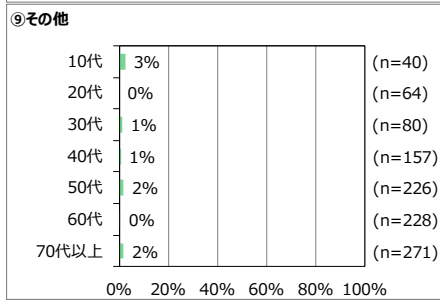
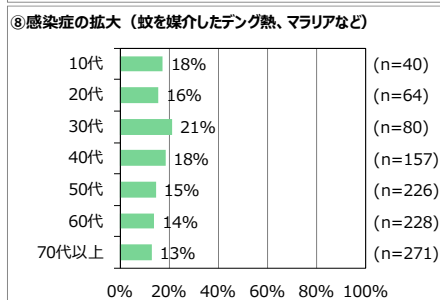
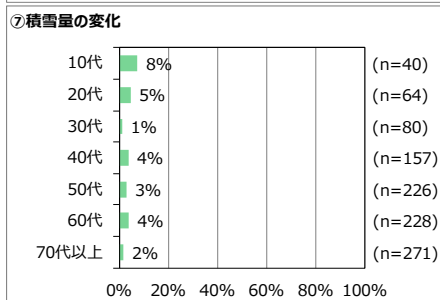
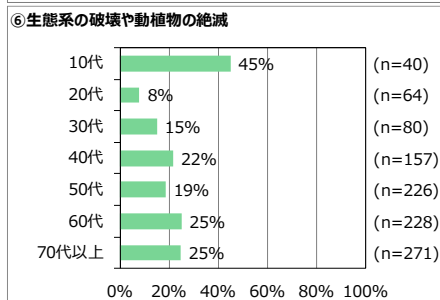
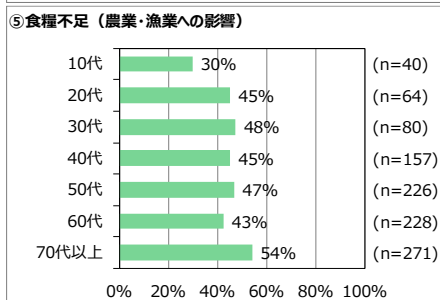
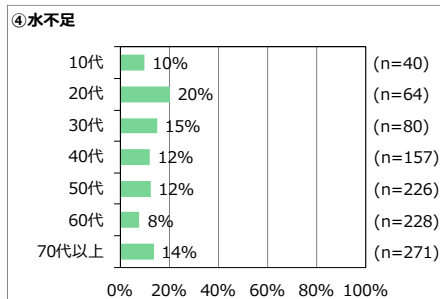
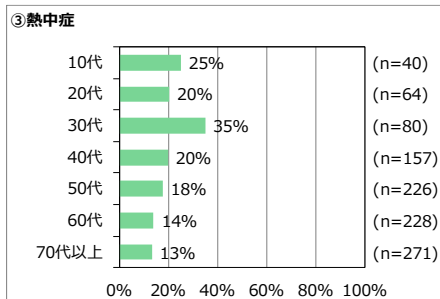
2) 年代別

①海面上昇、高潮



②洪水、豪雨



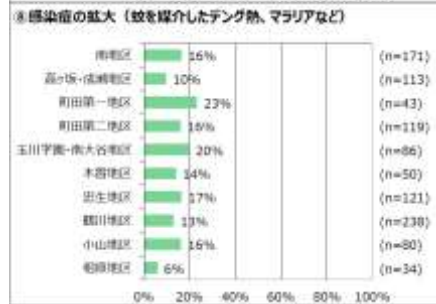
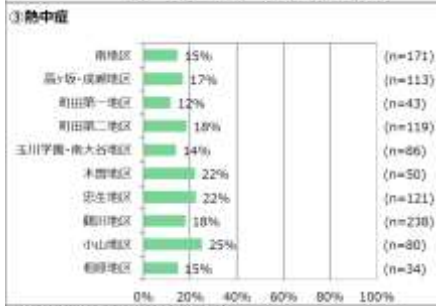


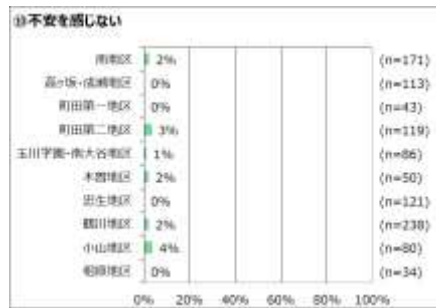
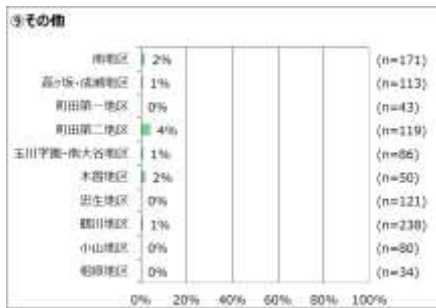
※2 つより少ない数を選択している場合があるため、各年代の合計は必ずしも 200%にならない。
 ※クロス集計において、無記入および無効回答は集計対象外としている。

【結果の整理】

- ・「①海面上昇、高潮」は 10 代～20 代が多く不安を感じています。
- ・「②洪水、豪雨」は 60 代をピークに年代が高くなるにつれて不安を感じる人が多くなっています。
- ・「⑥生態系の破壊や動植物の絶滅」は 10 代が多く不安を感じています。

3) 地域別





※2 つより少ない数を選択している場合があるため、各地区の合計は必ずしも 200%にならない。

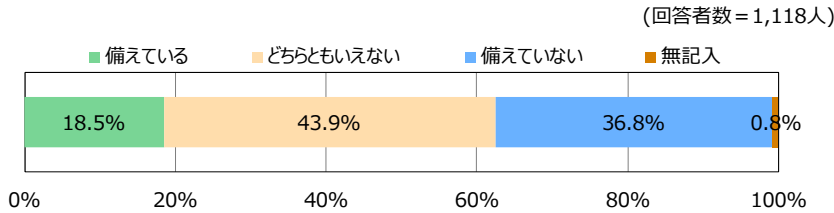
【結果の整理】

- ・「⑤食料不足」について「相原地区」で不安に感じている割合が高くなっています。

(2) 問2 気候変動の影響への備えについて

あなたは、気候変動の影響（猛暑、集中豪雨や極端な気象現象、災害等）に備えていますか（1つ選択）。

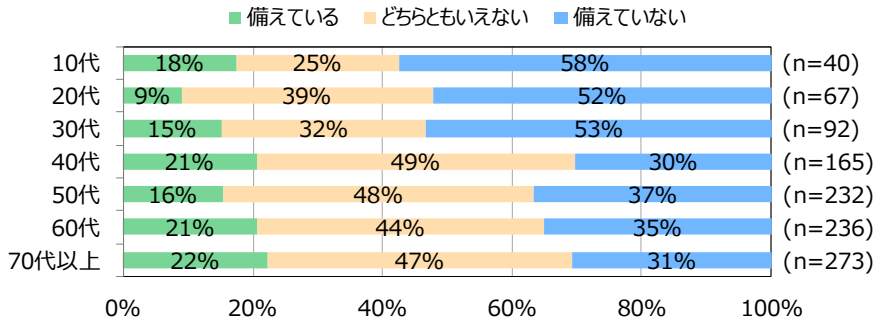
1) 全体



【結果の整理】

・18.5%の市民が気候変動の影響に「備えている」と答えています。一方、43.9%の市民が「どちらともいえない」、36.8%の市民が「備えていない」と答えています。

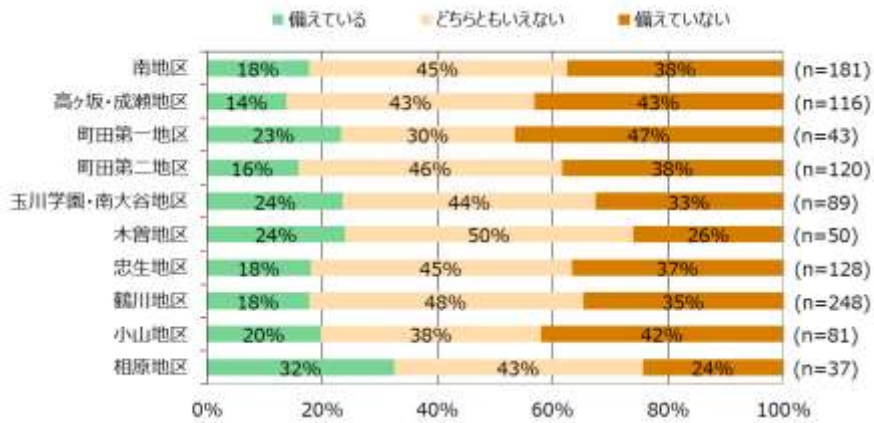
2) 年代別



【結果の整理】

・「備えている」と回答した人は20代で少なくなっています。
・「備えていない」と回答した人は10代～30代で多くなっています。

3) 地域別



【結果の整理】

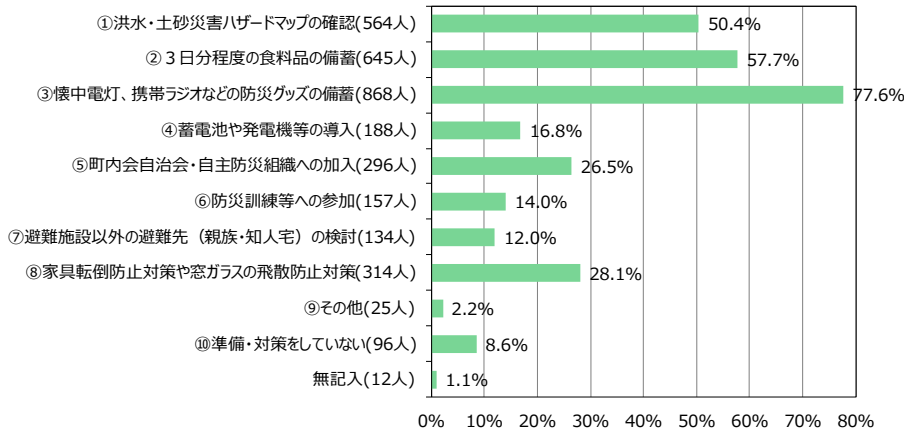
・地域別による大きな偏りはありません。

(3) 問3 災害への準備・対策について

あなたは、災害等に備えるため、どのような準備・対策をしていますか(全て選択)。

1) 全体

(回答者数=1,118人)



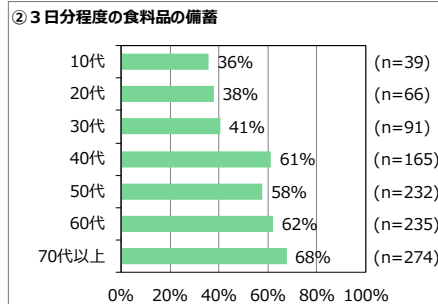
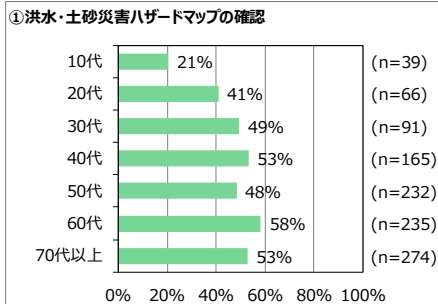
【主なその他意見】

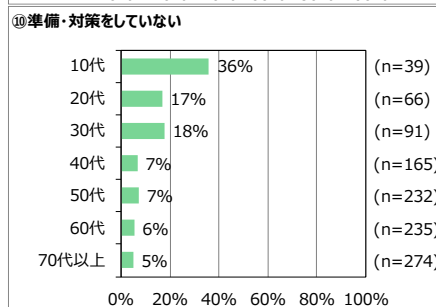
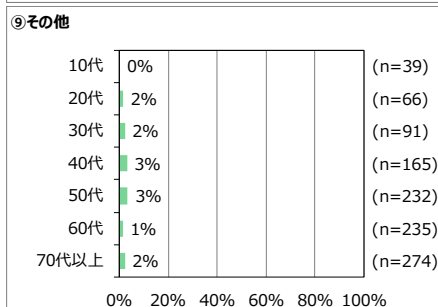
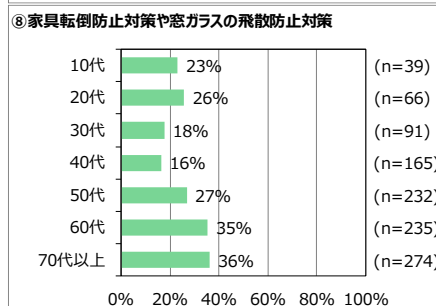
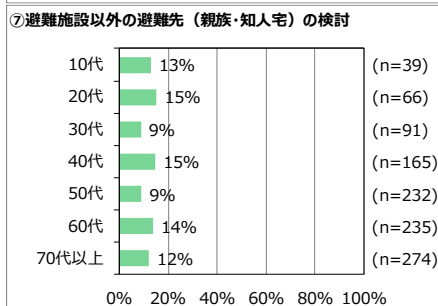
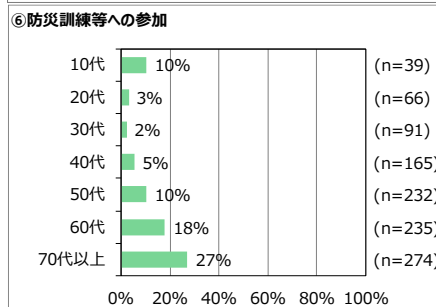
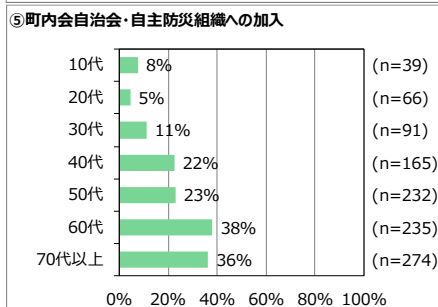
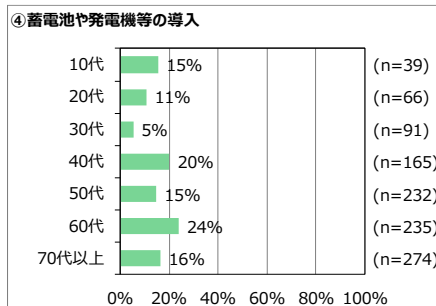
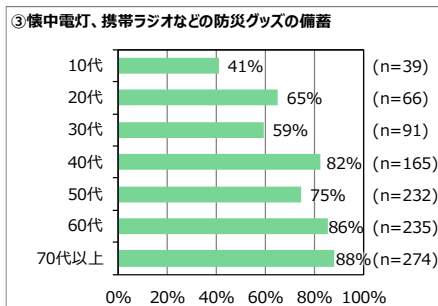
- ・防災グッズ、食料以外の備蓄(水・医薬品・携帯トイレ・キャンプ用品等)(17件)
- ・耐震構造住宅の検討(3件) など

【結果の整理】

・77.6%の市民が「懐中電灯、携帯ラジオなどの防災グッズの備蓄」を選んでいます。次いで「3日分程度の食料品の備蓄」(57.7%)、「洪水・土砂災害ハザードマップの確認」(50.4%)が多く選ばれています。

2) 年代別





【結果の整理】

・「②3日分程度の食料品の備蓄」「③懐中電灯、携帯ラジオなどの防災グッズの備蓄」「⑤町内会自治会・自主防災組織への加入」を選んだ人の割合は10代～30代で低くなっています。

3) 地域別

① 洪水・土砂災害ハザードマップの確認



② 3日分程度の食料品の備蓄



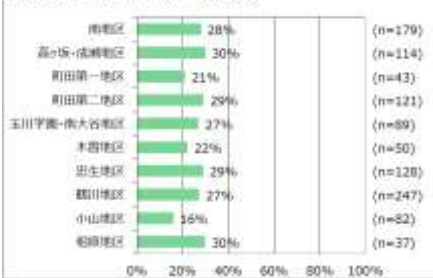
③ 懐中電灯、携帯ラジオなどの防災グッズの備蓄



④ 蓄電池や発電機等の導入



⑤ 町内会自治会・自主防災組織への参加



⑥ 防災訓練等への参加

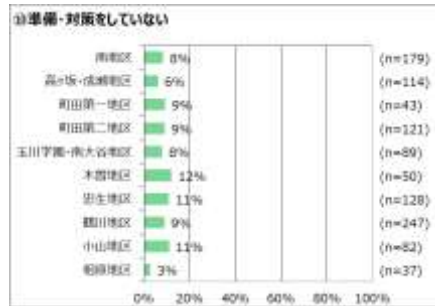
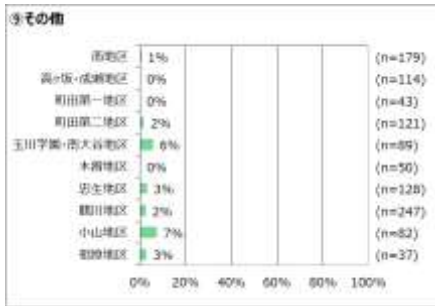


⑦ 避難施設以外の避難先(親族・知人宅)の検討



⑧ 家具転倒防止対策や窓ガラスの飛散防止対策





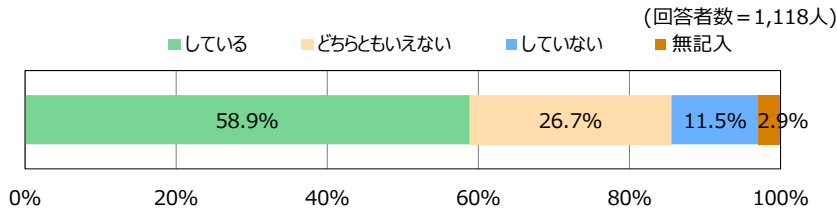
【結果の整理】

- ・地域別による大きな偏りはありません。

(4) 問 4 熱中症の予防や対策について

あなたは、熱中症の予防や対策をしていますか（1つ選択）。

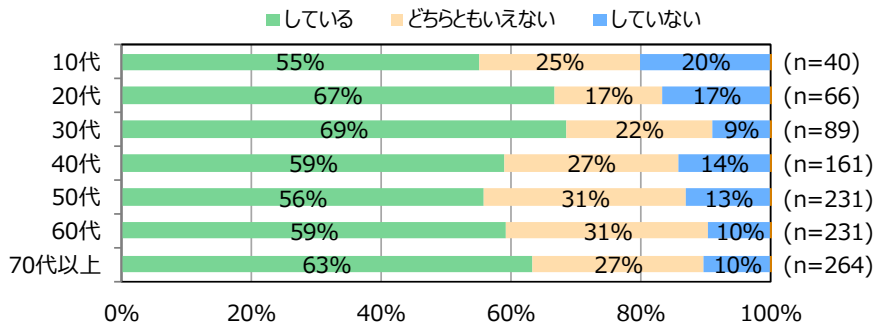
1) 全体



【結果の整理】

・58.9%の市民が熱中症予防や対策を「している」と答えています。一方、「どちらともいえない」（26.7%）、「していない」（11.5%）と答えています。

2) 年代別



【結果の整理】

・20代～30代で熱中症予防や対策を「している」と回答した割合が高くなっています。

3) 地域別



【結果の整理】

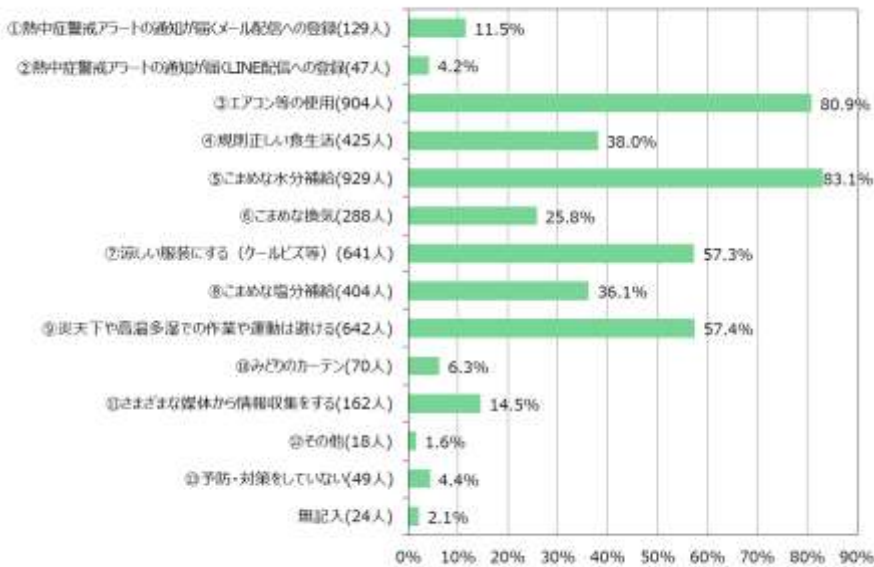
・町田第一地区と木曽地区、相原地区で熱中症予防や対策を「している」と回答した人の割合が高くなっています。

(5) 問5 熱中症の予防や対策について

実際にあなたがやっている熱中症の予防や対策について（全て選択）。

1) 全体

(回答者数=1,118人)



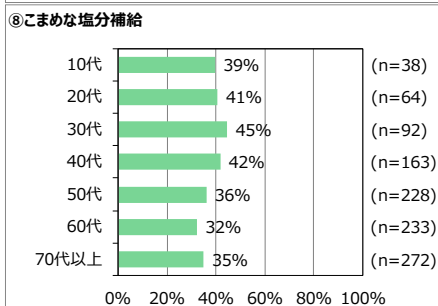
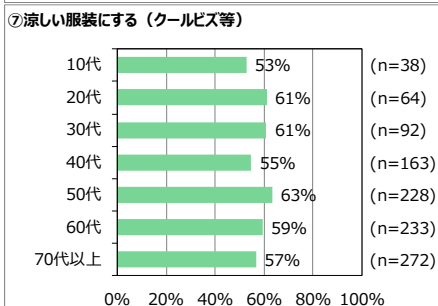
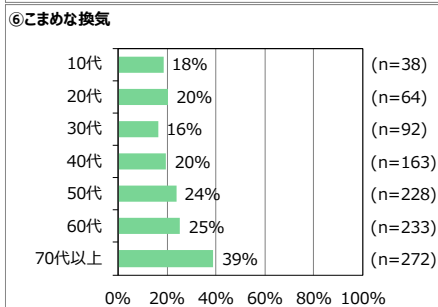
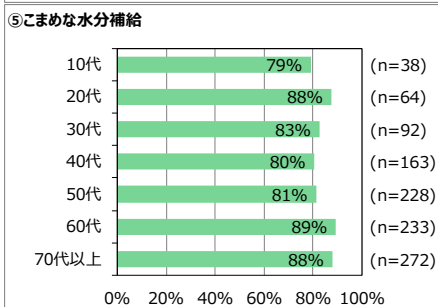
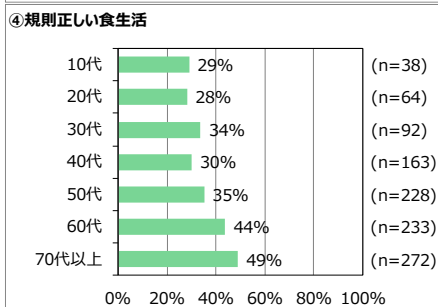
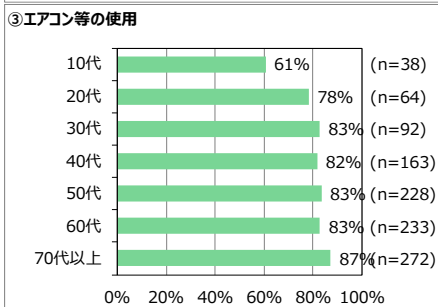
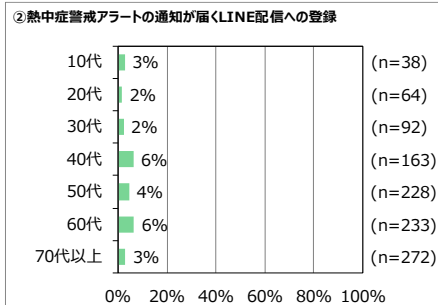
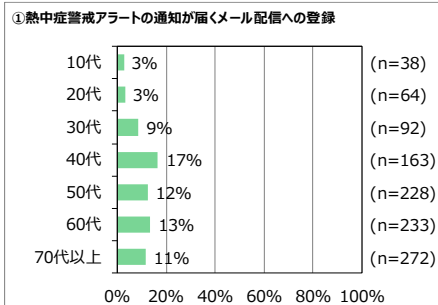
【主なその他意見】

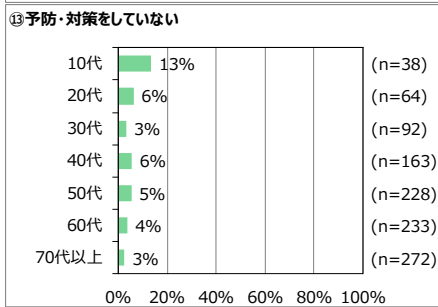
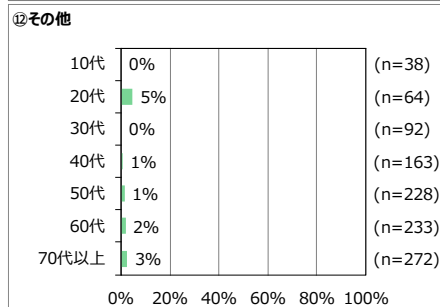
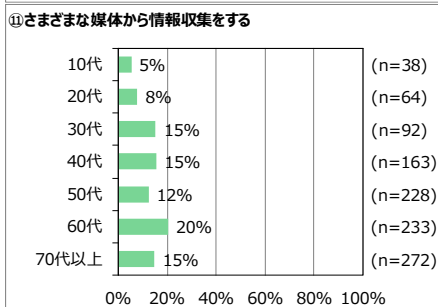
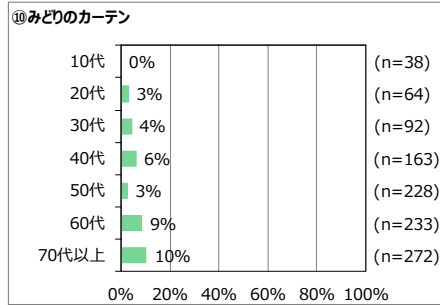
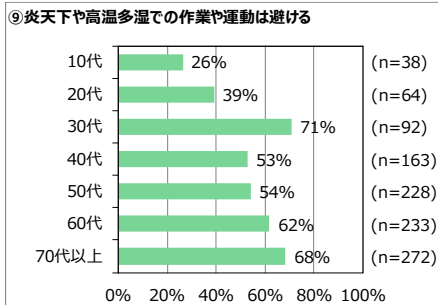
- ・熱中症対策グッズ（ファン付き作業服、保冷枕）や遮光遮熱製品（日傘等）を使用（9件）
- ・家屋の遮光・遮熱対策（打ち水等）（3件）
- ・体調管理（適度な運動や水分補給等）（5件） など

【結果の整理】

・83.1%の市民が「⑤こまめな水分補給」を実施していると答えています。次いで「③エアコン等の使用」（80.9%）、「⑨炎天下や高温多湿での作業や運動は避ける」（57.4%）、「⑦涼しい服装にする（クールビズ等）」（57.3%）が多く選ばれています。

2) 年代別



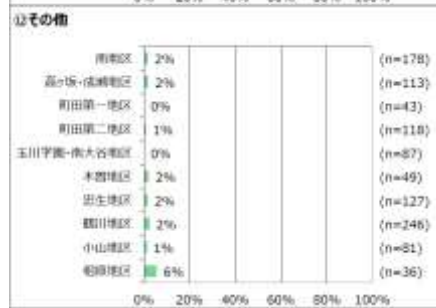
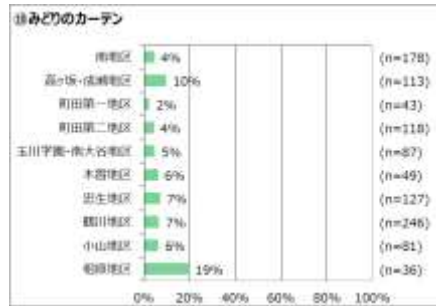


【結果の整理】

- ・「④規則正しい食生活」「⑥こまめな換気」を実施している人の割合は、年代が高くなるほど高くなっています。
- ・「⑨炎天下や高温多湿での作業や運動は避ける」を実施している人の割合は 30代で最も高く、また年代が高くなるほど高くなっています。

3) 地域別





【結果の整理】

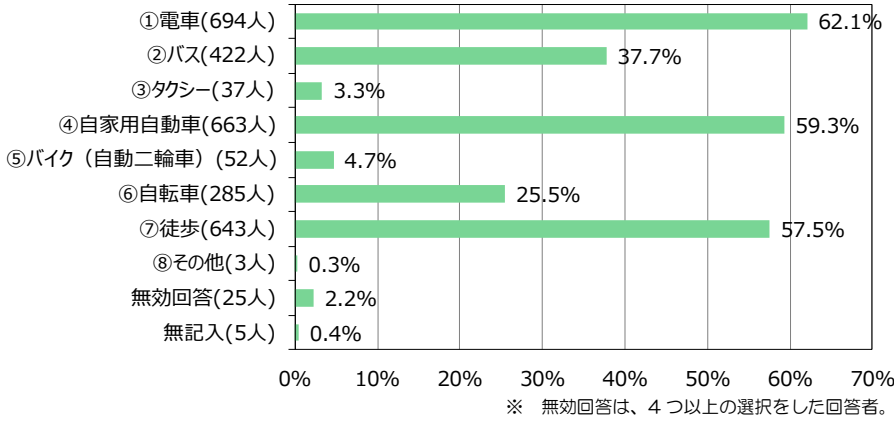
・「⑤みどりのカーテン」の実施率は相原地区で高くなっています。

(6) 問6 移動時の手段について

あなたが移動時の手段としてよく使うものについて（3つまで選択）。

1) 全体

(回答者数=1,118人)



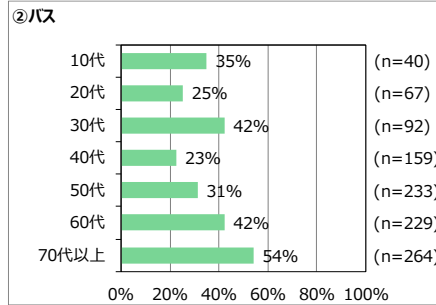
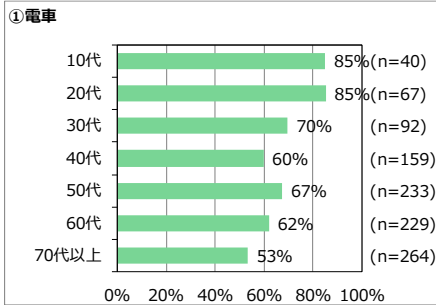
【主なその他意見】

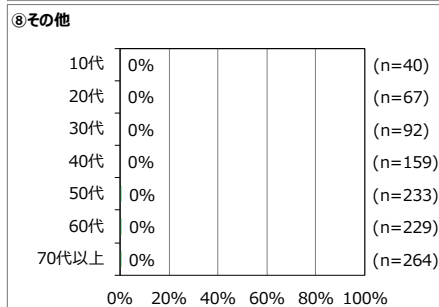
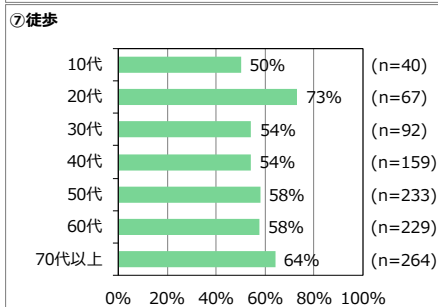
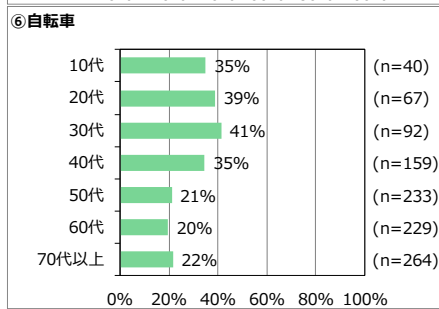
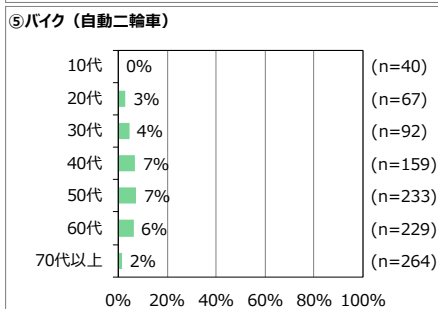
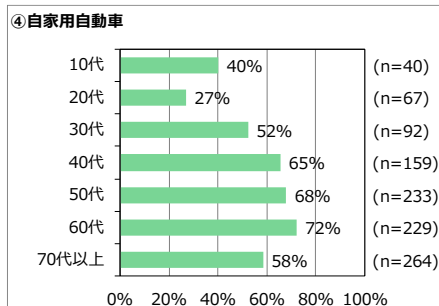
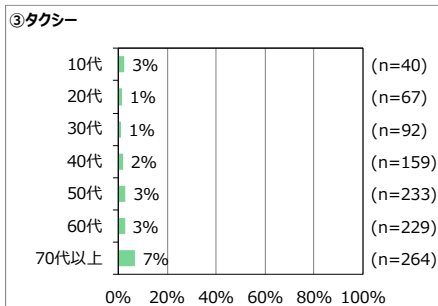
- ・車椅子（2件）
- ・レンタカー（1件） など

【結果の整理】

・62.1%の市民が「①電車」と回答しています。次いで「④自家用自動車」（59.3%）、「⑦徒歩」（57.5%）、「②バス」（37.7%）の順に高くなっています。

2) 年代別

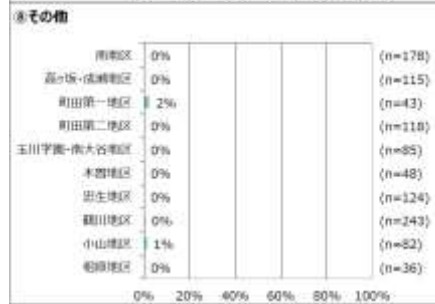
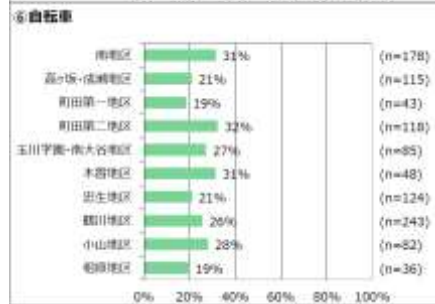
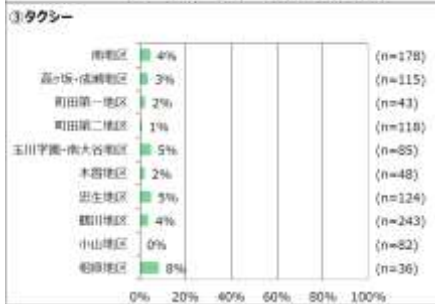
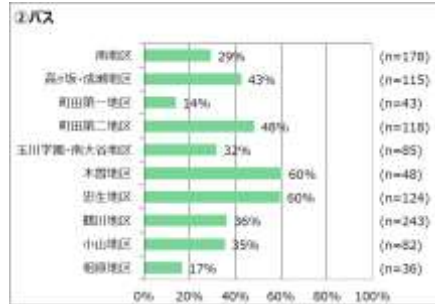




【結果の整理】

- ・「①電車」と回答している人の割合は 10代～20代が高く、年代が上がるにつれて割合が低くなっています。
- ・「②バス」、「③タクシー」と回答している人の割合は 70代以上が高くなっています。
- ・「④自家用自動車」と回答している人の割合は 50代～60代で高くなっています。
- ・「⑥自転車」と回答している人の割合は 50代以降で低くなっています。

3) 地域別



【結果の整理】

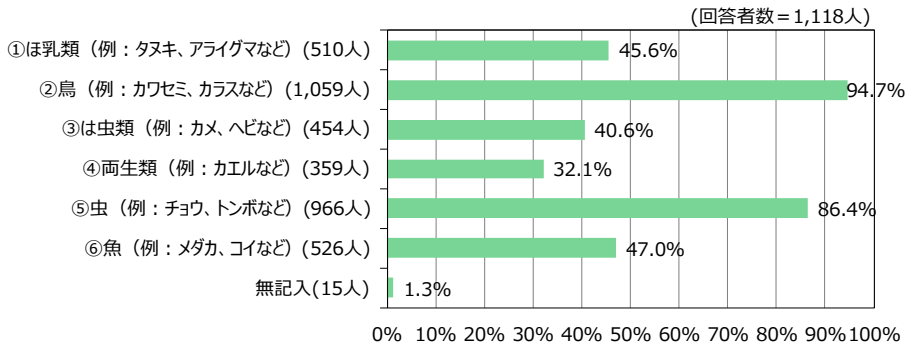
- ・「①電車」と回答している人の割合は「町田第一地区」で高くなっており、次いで「玉川学園・南大谷地区」、「南地区」で高くなっています。
- ・「②バス」と回答している人の割合は「木曽地区」「忠生地区」で高くなっており、次いで「町田第二地区」で高くなっています。
- ・「④自家用自動車」と回答している人の割合は「町田第二地区」「木曽地区」「町田第一地区」で低い傾向にあります。
- ・「⑦徒歩」と回答した人の割合は「忠生地区」「鶴川地区」「小山地区」で低い傾向にあります。

2.3 生物多様性や水とみどりについて

(1) 問7 町田市内で見える野生の生きものについて

町田市内で野生の生きものを見ることはありますか（全て選択）。

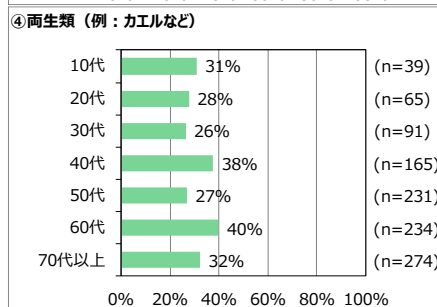
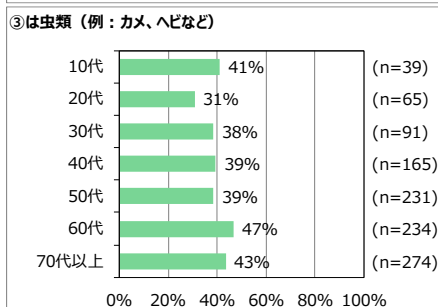
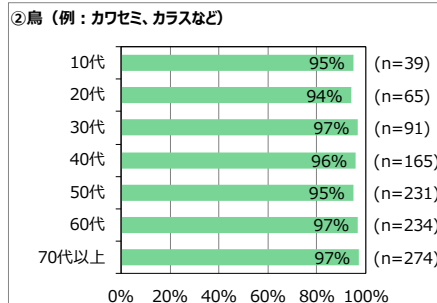
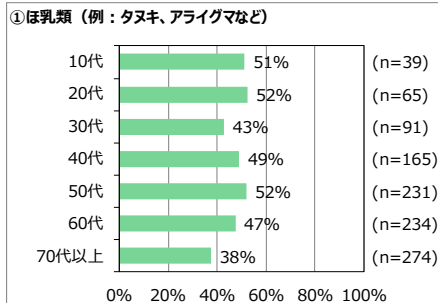
1) 全体

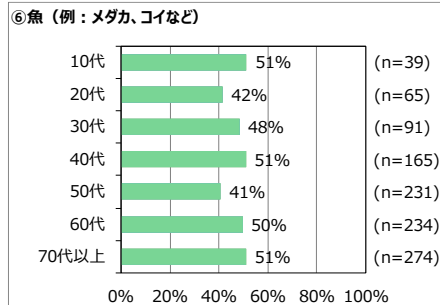
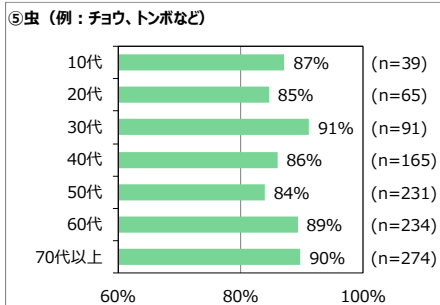


【結果の整理】

・94.7%の市民が「②鳥（例：カワセミ、カラスなど）」を見ると答えています。次いで「⑤虫（例：チョウ、トンボなど）」（86.4%）、「⑥魚（例：メダカ、コイなど）」（47.0%）が多く選ばれています。

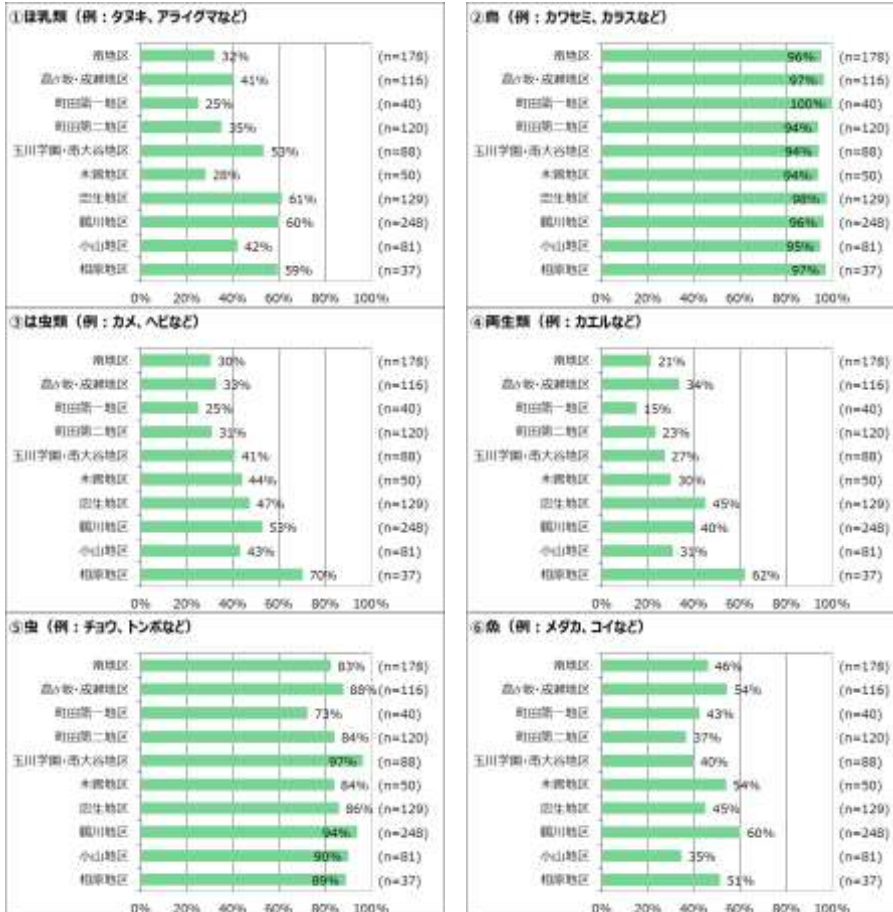
2) 年代別





【結果の整理】
 ・年代別による大きな偏りはありません。

3) 地域別



【結果の整理】

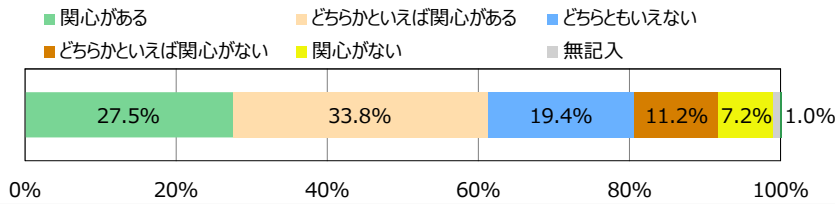
- ・「①ほ乳類」は「忠生地区」、「鶴川地区」で回答率が高くなっており、「町田第一地区」で最も低くなっています。
- ・「③は虫類」、「④両生類」は「相原地区」で回答率が高くなっており、「町田第一地区」で最も低くなっています。
- ・「⑤虫」は「町田第一地区」で最も回答率が低くなっています。
- ・「⑥魚」は「小山地区」で最も回答率が低くなっています。

(2) 問 8 町田市内の生きものへの関心について

町田市内の生きもの（鳥、昆虫、植物等）に関心がありますか（1つ選択）。

1) 全体

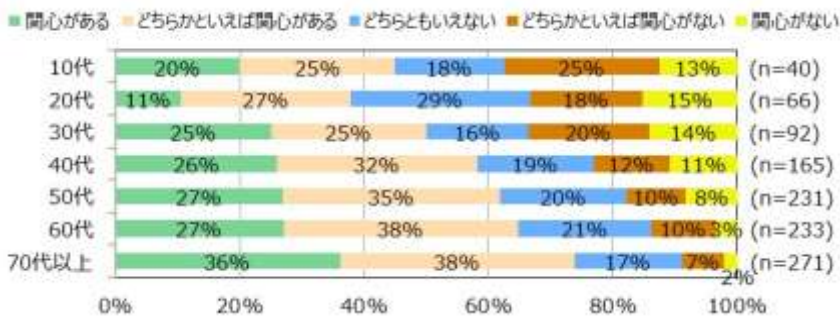
(回答者数 = 1,118人)



【結果の整理】

・60%以上の市民が生き物に「関心がある（27.5%）」「どちらかといえば関心がある（33.8%）」と答えています。一方、約20%の市民が「どちらかといえば関心がない（11.2%）」「関心がない（7.2%）」としています。

2) 年代別

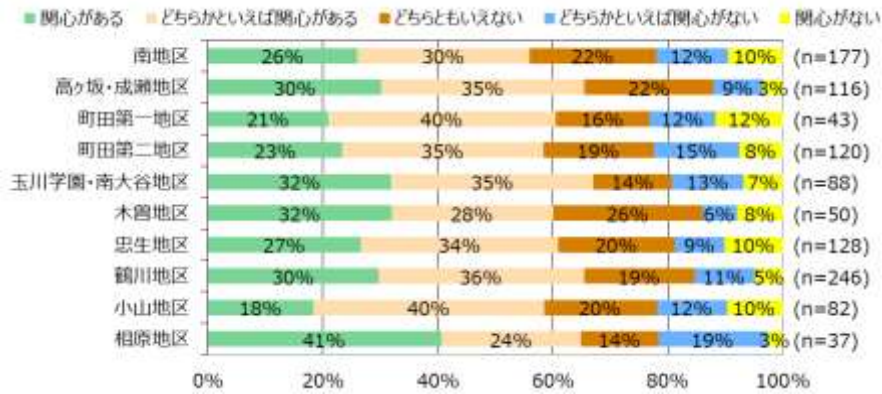


【結果の整理】

・「関心がある」と回答した年代は70代以上が最も高く（36%）、20代が最も低く（11%）なっています。

コメントの追加 [A2]: 230928 グラフ修正

3) 地域別



【結果の整理】

- ・「関心がある」と回答した地区は「相原地区」が最も高く（41%）、「小山地区」が最も低く（18%）なっています。
- ・「関心がない」と回答した地区は「相原地区」が最も低く（3%）、「町田第一地区」が最も高く（12%）なっています。

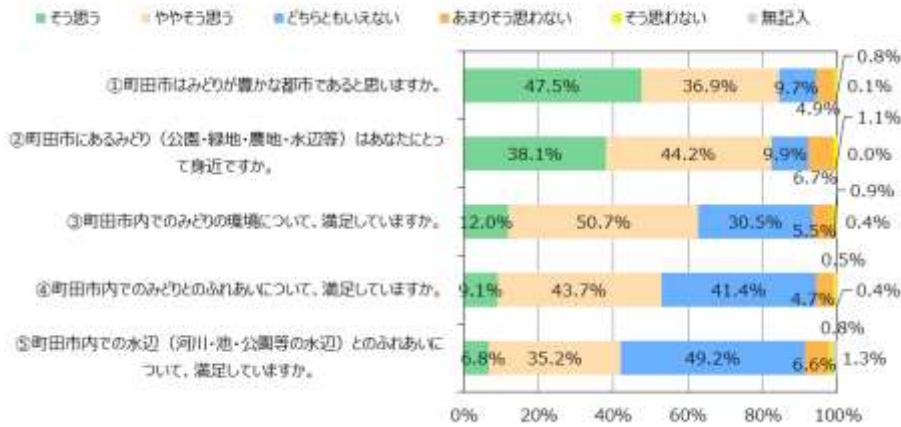
(3) 問 9 みどりや水辺の状況について

①～⑤にあげる町田市内的のみどりや水辺の状況について、あなたの考えに近いものはどれですか（1つ選択）。

- | |
|--|
| ①町田市はみどりが豊かな都市であると思いますか。 |
| ②町田市にあるみどり（公園・緑地・農地・水辺等）はあなたにとって身近ですか。 |
| ③町田市内でのみどりの環境について、満足していますか。 |
| ④町田市内でのみどりとふれあいについて、満足していますか。 |
| ⑤町田市内での水辺（河川・池・公園等の水辺）とのふれあいについて、満足していますか。 |

1) 全体

(回答者数 = 1,118人)



【結果の整理】

・47.5%の市民が「① 町田市はみどりが豊かな都市であると思いますか。」に対して「そう思う」と答えています。一方 49.2%の市民が「⑤ 町田市内での水辺（河川・池・公園等の水辺）とのふれあいについて、満足していますか。」に対して「どちらともいえない」と答えています。

2) 年代別

① 町田市はみどりが豊かな都市であると思いますか。



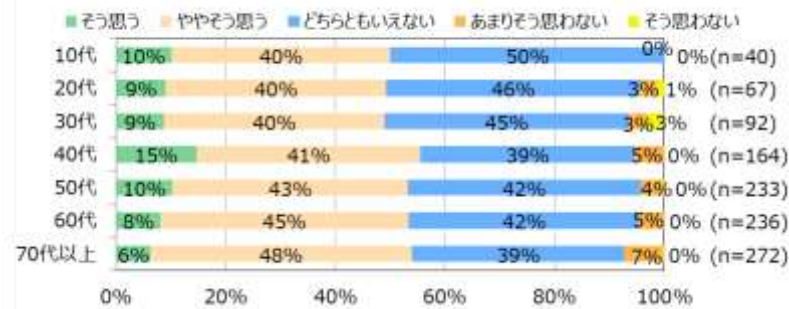
② 町田市にあるみどり（公園・緑地・農地・水辺等）はあなたにとって身近ですか。



③ 町田市内でのみどりの環境について、満足していますか。



④ 町田市内でのみどりとのふれあいについて、満足していますか。



⑤ 町田市内での水辺（河川・池・公園等の水辺）とのふれあいについて、満足していますか。

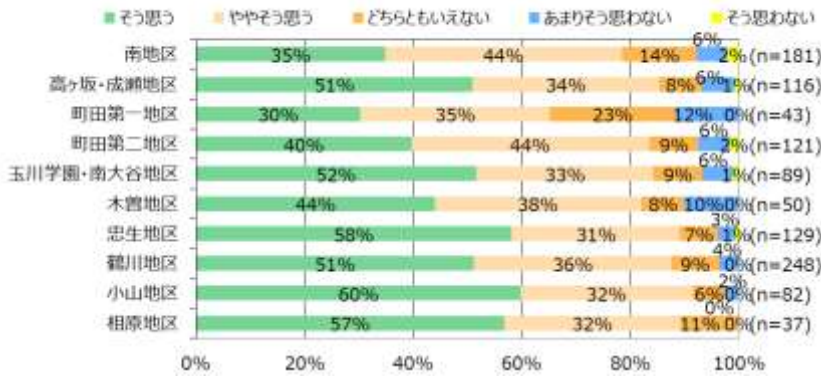


【結果の整理】

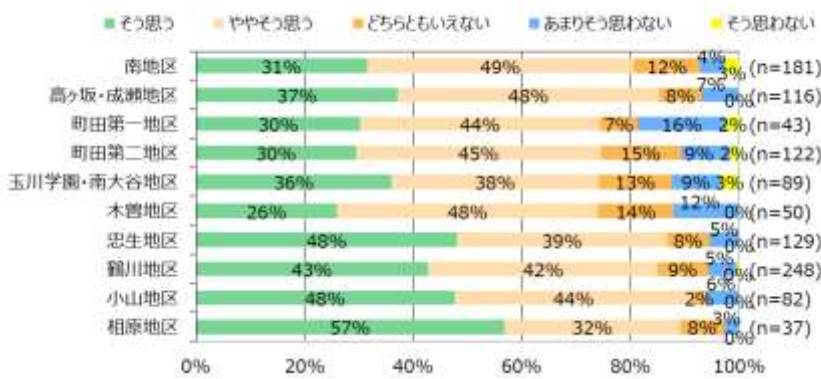
・年代別による大きな偏りはありません。

3) 地域別

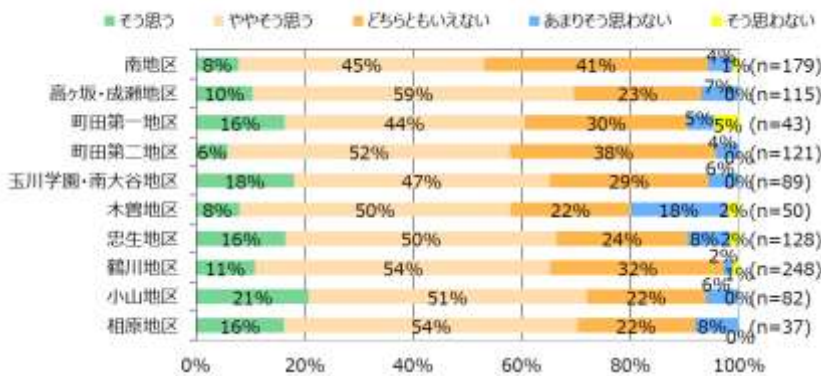
① 町田市はみどり豊かな都市だと思いますか。



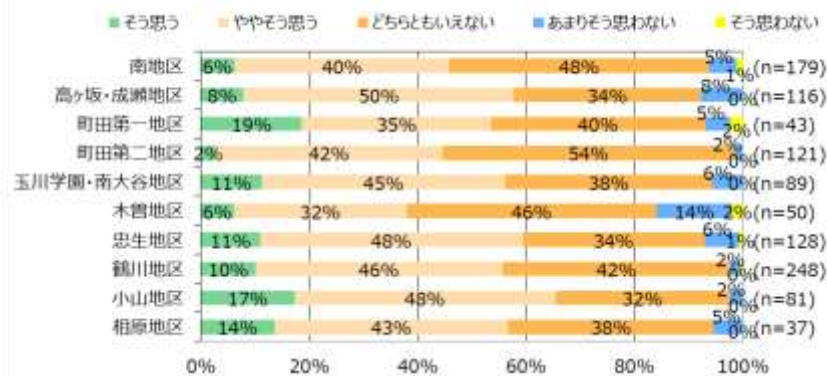
② 町田市にあるみどり（公園・緑地・農地・水辺等）はあなたにとって身近ですか。



③ 町田市内でのみどりの環境について、満足していますか。



④町田市内でのみどりとのふれあいについて、満足していますか。



⑤町田市内での水辺（河川・池・公園等の水辺）とのふれあいについて、満足していますか。



【結果の整理】

- ・「①町田市はみどりが豊かな都市であると思いますか。」に対して「小山地区（60%）」「忠生地区（58%）」「相原地区（57%）」が高くなっており、一方で「町田第一地区（30%）」「南地区（35%）」が低くなっています。
- ・「②町田市にあるみどり（公園・緑地・農地・水辺等）はあなたにとって身近ですか。」に対して、「相原地区（57%）」「忠生地区（48%）」「小山地区（48%）」が高くなっており、一方で「木曾地区（26%）」「町田第一地区（30%）」「町田第二地区（30%）」が低くなっています。
- ・「③町田市内でのみどりの環境について、満足していますか。」に対して「小山地区（21%）」で高くなっており、「町田第二地区（6%）」で低くなっています。

(4) 問 10 歴史や文化とのふれあいについて

町田市内での歴史や文化（史跡、古道、文化財など）とのふれあいについて満足していますか（1つ選択）。

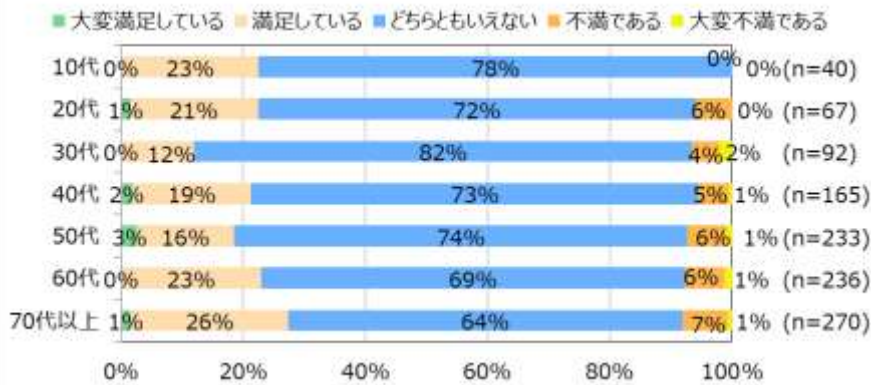
1) 全体



【結果の整理】

・20%以上の市民が歴史や文化（史跡、古道、文化財など）とのふれあいについて「大変満足している（1.3%）」「満足している（20.5%）」と答えています。

2) 年代別



【結果の整理】

・年代別による大きな偏りはありません。

3) 地域別



【結果の整理】

・地域別による大きな偏りはありません。

2.4 ごみの減量や資源化について

(1) 問 11-1 ごみ減量の取組について

あなたは日頃からごみの減量に取り組んでいますか（1 つ選択）。

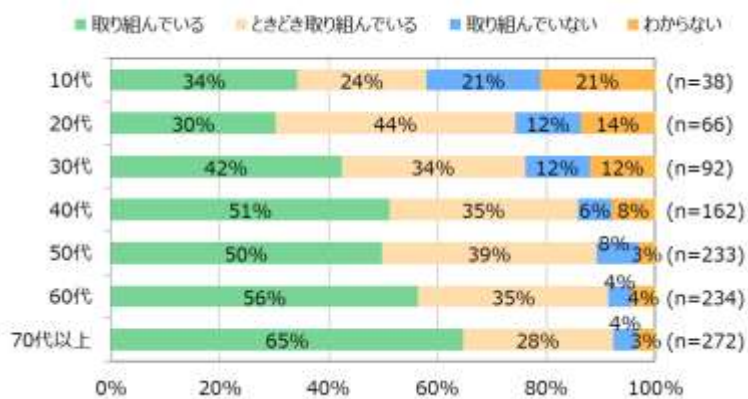
1) 全体



【結果の整理】

・約 85%の市民がごみの減量について「取り組んでいる（52.2%）」「ときどき取り組んでいる（33.5%）」と答えています。一方、7.2%の市民がごみの減量に「取り組んでいない」としています。

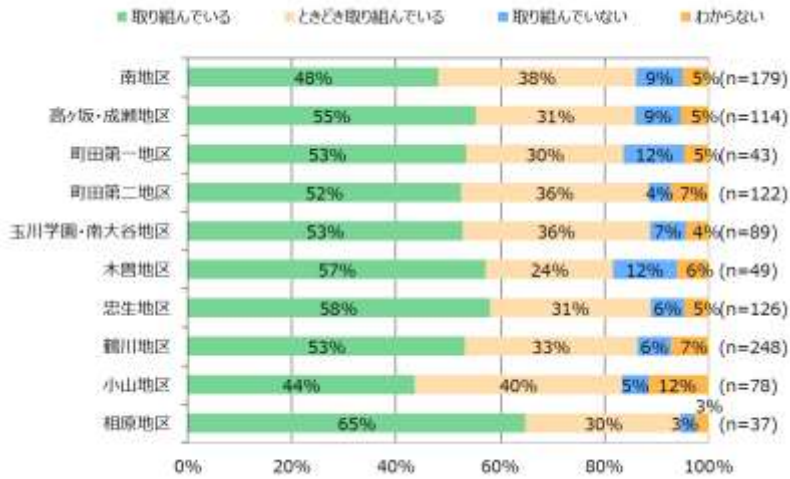
2) 年代別



【結果の整理】

・年代が上がるほど「取り組んでいる」割合が高くなっています。

3) 地域別



【結果の整理】

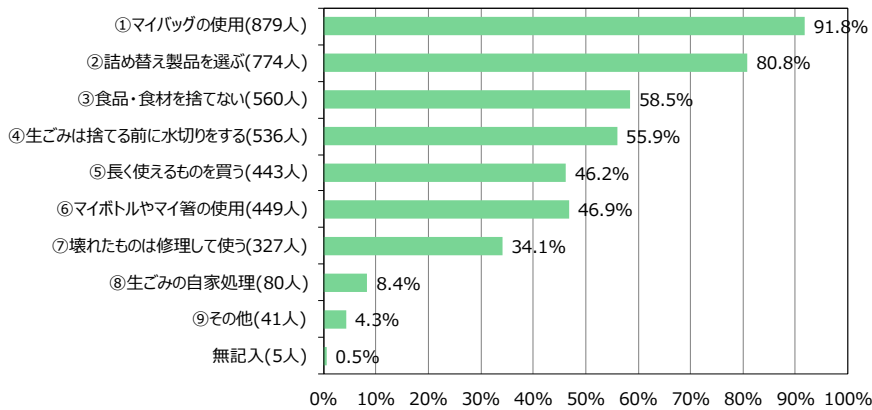
・「相原地区（65%）」で「取り組んでいる」割合が高くなっています。

(2) 問 11-2 ごみの減量に有効な取組について

あなたがごみの減量のためにしている取組のうち、減量に有効だと感じていることを教えてください（全て選択）。

1) 全体

(回答者数 = 958人)



※ (1) 問 11-1 でごみの減量に「取り組んでいる」、「ときどき取り組んでいる」を選択の方のみ回答。

【主なその他意見】

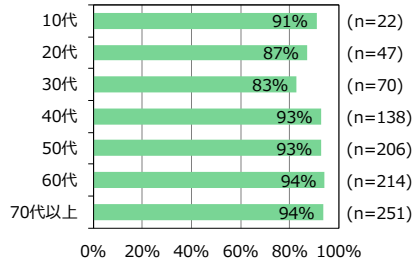
- ・リユース、リサイクル等（12件）
- ・生ごみの肥料化（コンポスト）（3件）
- ・ごみの分別の徹底（17件）
- ・余計なものを買わない（7件） など

【結果の整理】

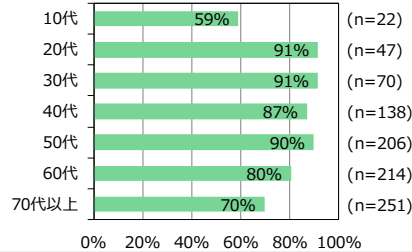
・ごみの減量に取り組んでいる市民（「取り組んでいる」または「ときどき取り組んでいる」と回答した市民）のうち、91.8%がごみ減量には「マイバッグの使用」が有効と感じています。次いで「詰め替え製品を選ぶ」（80.8%）、「食品・食材を捨てない」（58.5%）が多く選ばれています。

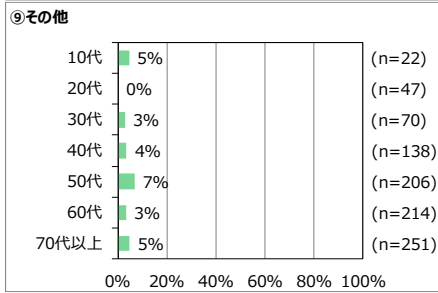
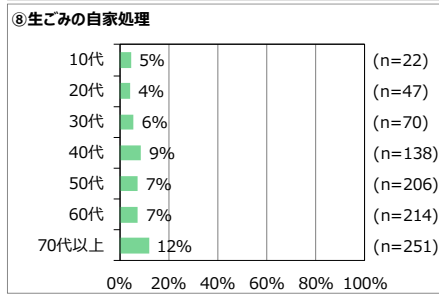
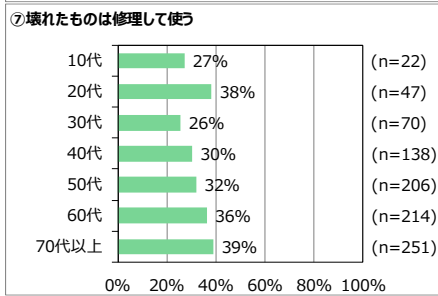
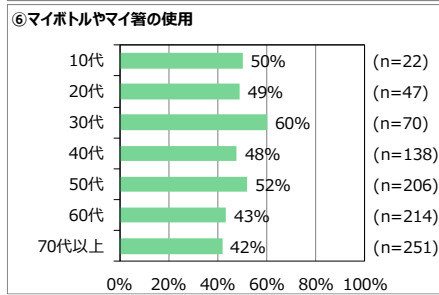
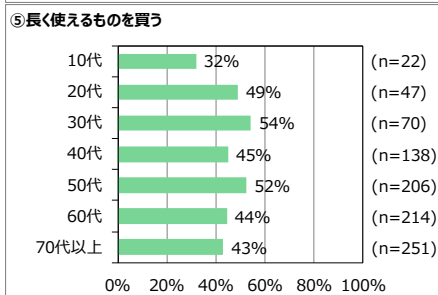
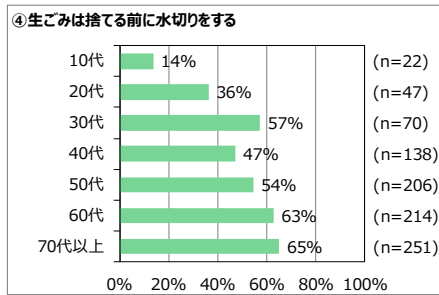
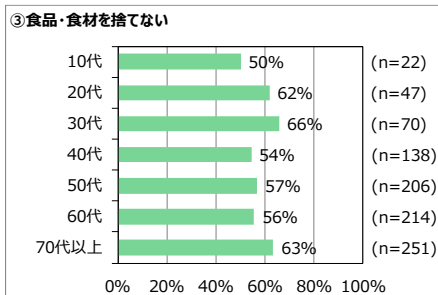
2) 年代別

①マイバッグの使用



②詰め替え製品を選ぶ





【結果の整理】
 ・「②詰め替え商品を選ぶ」、「④生ごみは捨てる前に水切りをする」に対して 10 代の有効と感じる割合が低くなっています。

3) 地域別





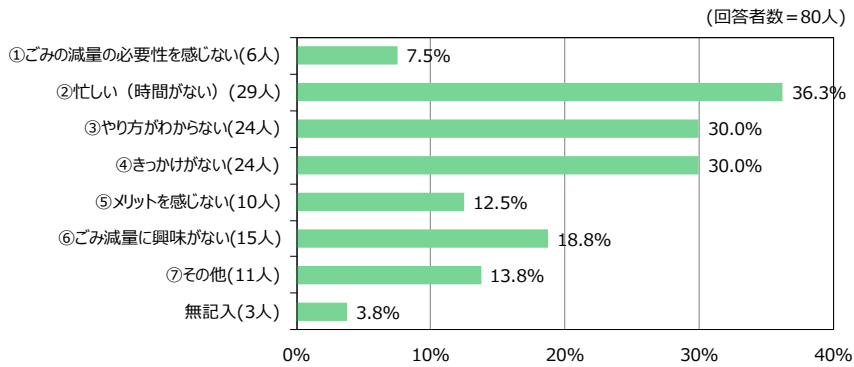
【結果の整理】

・地域別による大きな偏りはありません。

(3) 問 11-3 ごみの減量に取り組んでいない理由

あなたがごみの減量に取り組んでいない理由を教えてください（全て選択）。

1) 全体



※ (1) 問 11-1 でごみの減量に「取り組んでいない」を選択の方のみ回答。

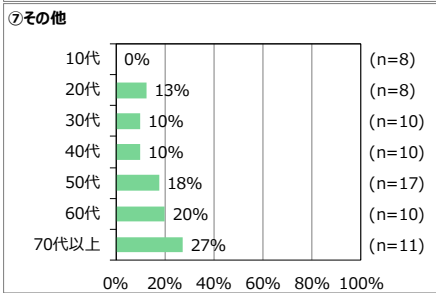
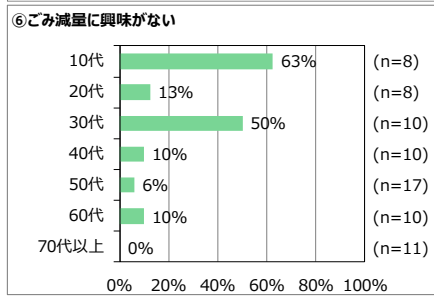
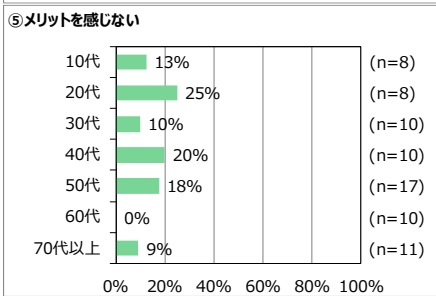
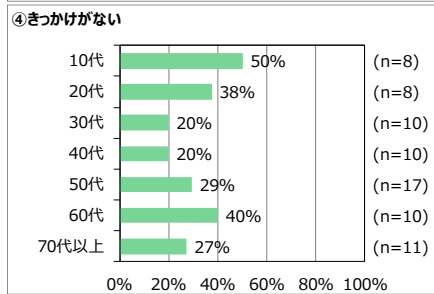
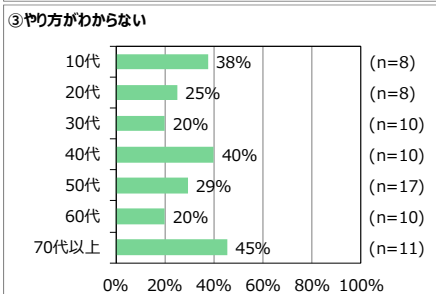
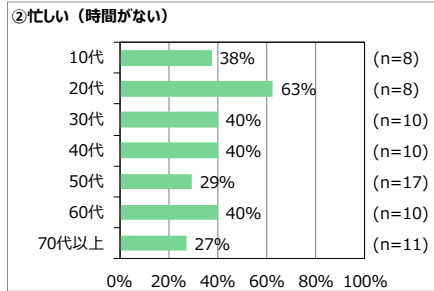
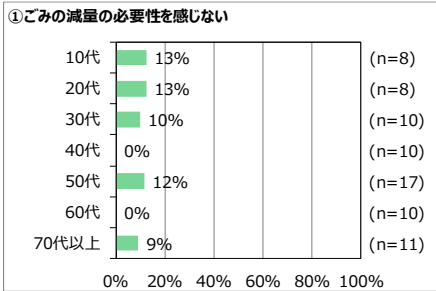
【主なその他意見】

- ・日常生活でごみが発生しやすい（4件）
- ・分別を徹底しているためこれ以上のごみ減量が難しい（3件） など

【結果の整理】

・ごみの減量に「取り組んでいない」を選択した方のうち、36.3%の市民が、取り組んでいない理由として「②忙しい（時間がない）」と答えています。次いで、「③やり方がわからない」（30.0%）、「④きっかけがない」（30.0%）が選ばれています。

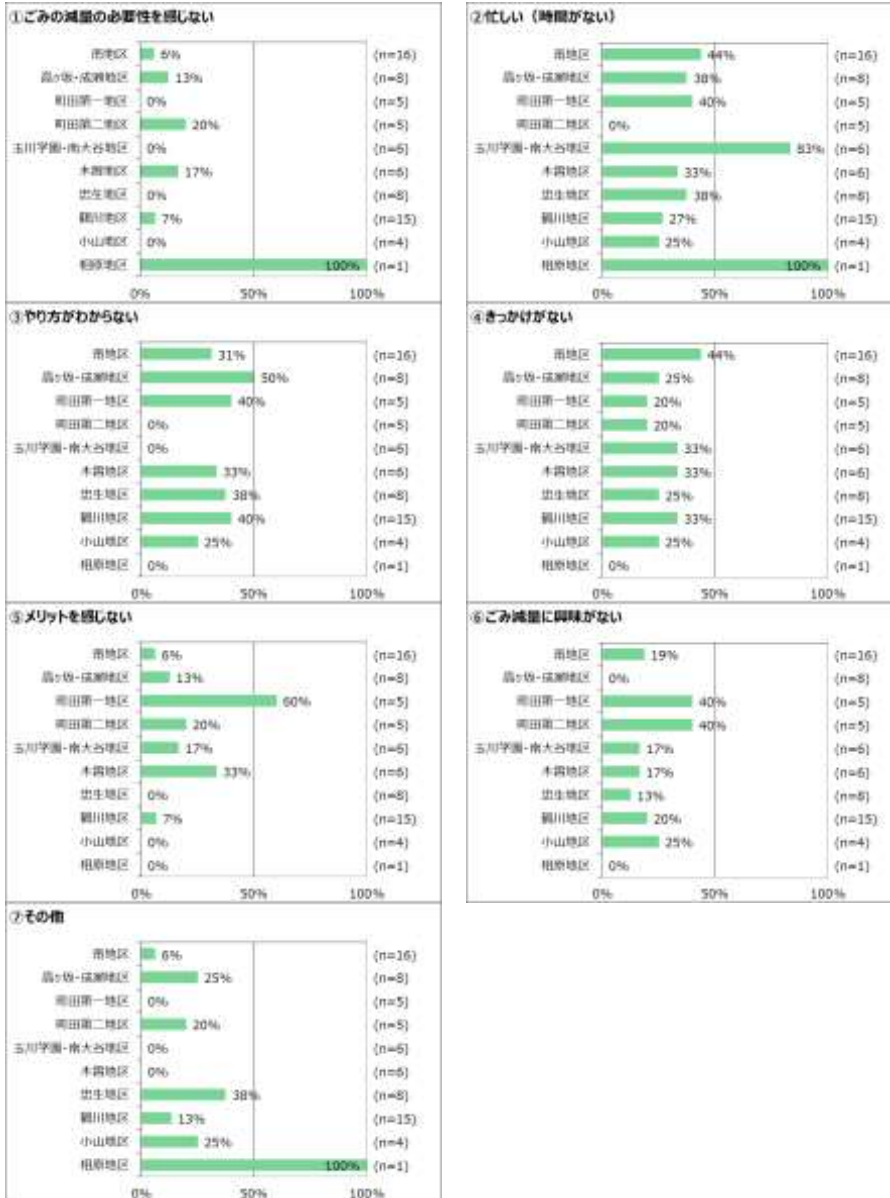
2) 年代別



【結果の整理】

- ・「②忙しい（時間がない）」を選んだ年代は 20 代で最も高くなっています。
- ・「④きっかけがない」を選んだ年代は 10 代～20 代、60 代で高くなっています。
- ・「⑥ごみ減量に興味がない」を選んだ年代は 10 代、30 代で高くなっています。

3) 地域別



【結果の整理】

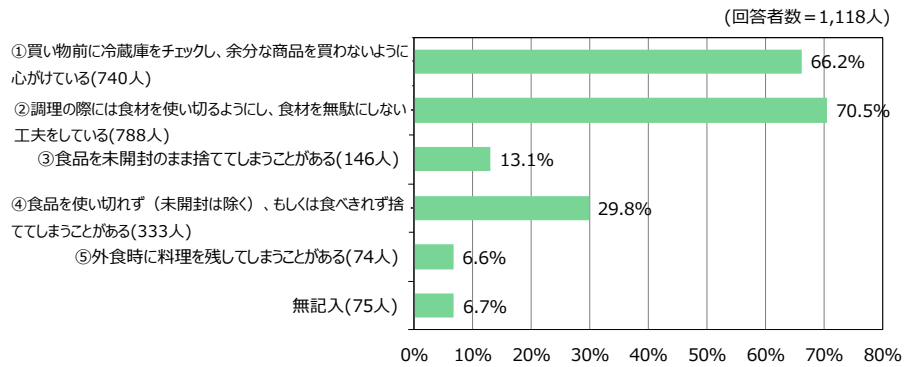
・ごみの減量に「取り組んでいない」と回答した人は相原地区では1名となっており、相原地区を除くと、地域別による大きな偏りはありません。

コメントの追加 [A3]: 230928 修正

(4) 問 12 食品とのかかわりについて

食品とのかかわりについて教えてください(全て選択)。

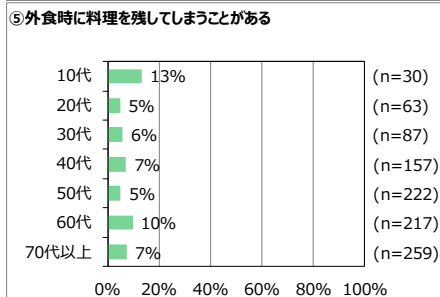
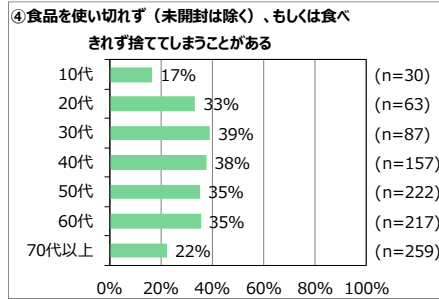
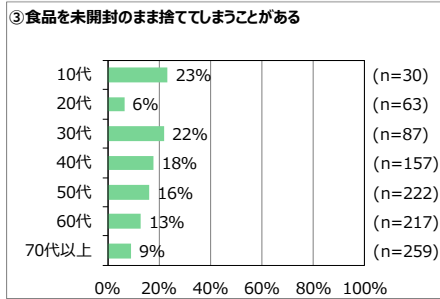
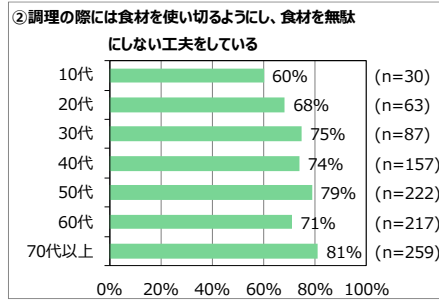
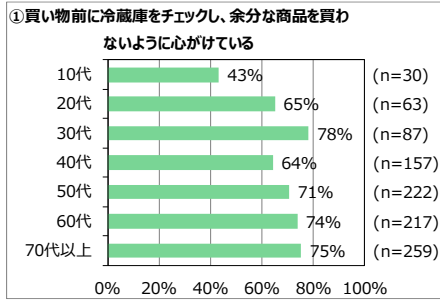
1) 全体



【結果の整理】

・70.5%の市民が、「調理の際には食材を使い切るようにし、食材を無駄にしない工夫をしている」と答えています。次いで「買い物前に冷蔵庫をチェックし、余分な商品を買わないように心がけている」(66.2%)と答えています。

2) 年代別



【結果の整理】

・「①買い物前に冷蔵庫をチェックし、余分な商品を買わないように心がけている」は10代で低くなっています。

3) 地域別



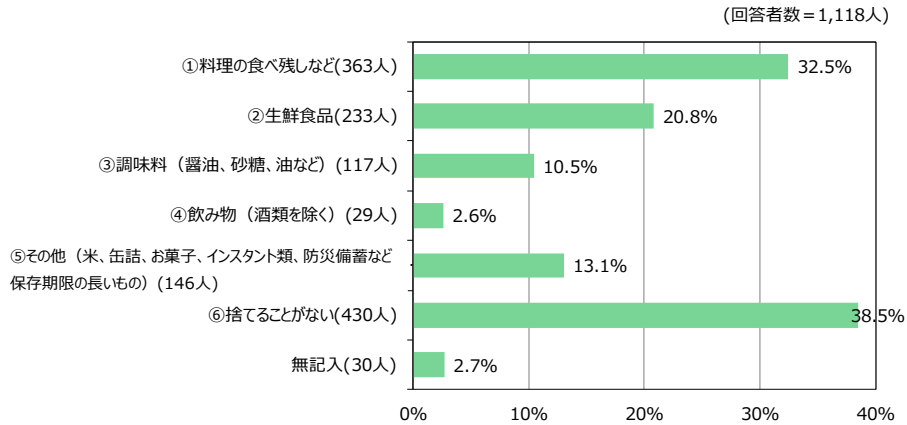
【結果の整理】

- ・地域別による大きな偏りはありません。

(5) 問 13 廃棄食品について

あなたが捨ててしまうことが多い食品は何ですか（全て選択）。

1) 全体

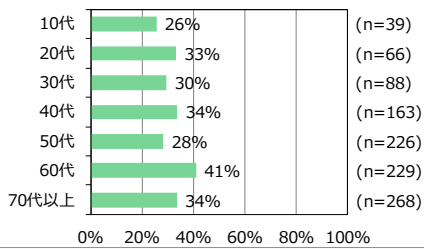


【結果の整理】

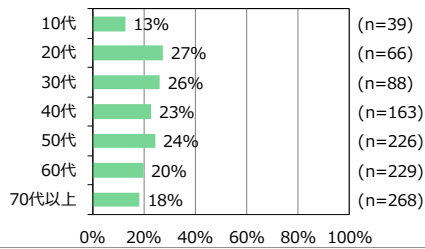
・廃棄食品について、38.5%の市民が「⑥捨てることのない」と答えています。その他「①料理の食べ残しなど」(32.5%)、「②生鮮食品」(20.8%)が廃棄食品として多く挙げられています。

2) 年代別

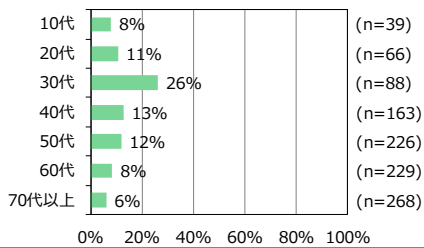
①料理の食べ残しなど



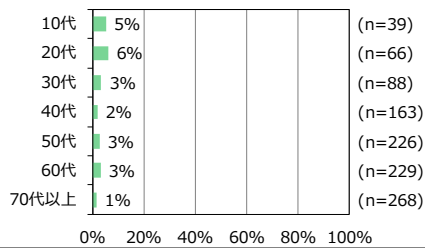
②生鮮食品



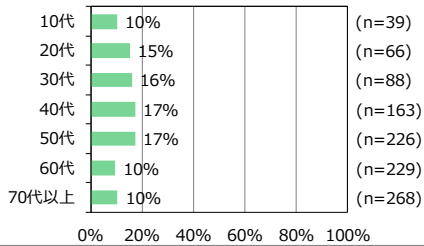
③調味料（醤油、砂糖、油など）



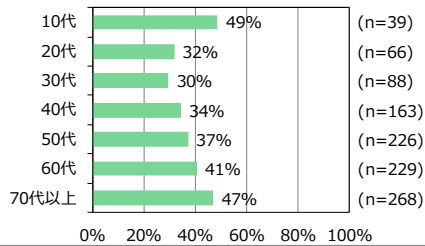
④飲み物（酒類を除く）



⑤その他（米、缶詰、お菓子、インスタント類、防災備蓄など保存期限の長いもの）



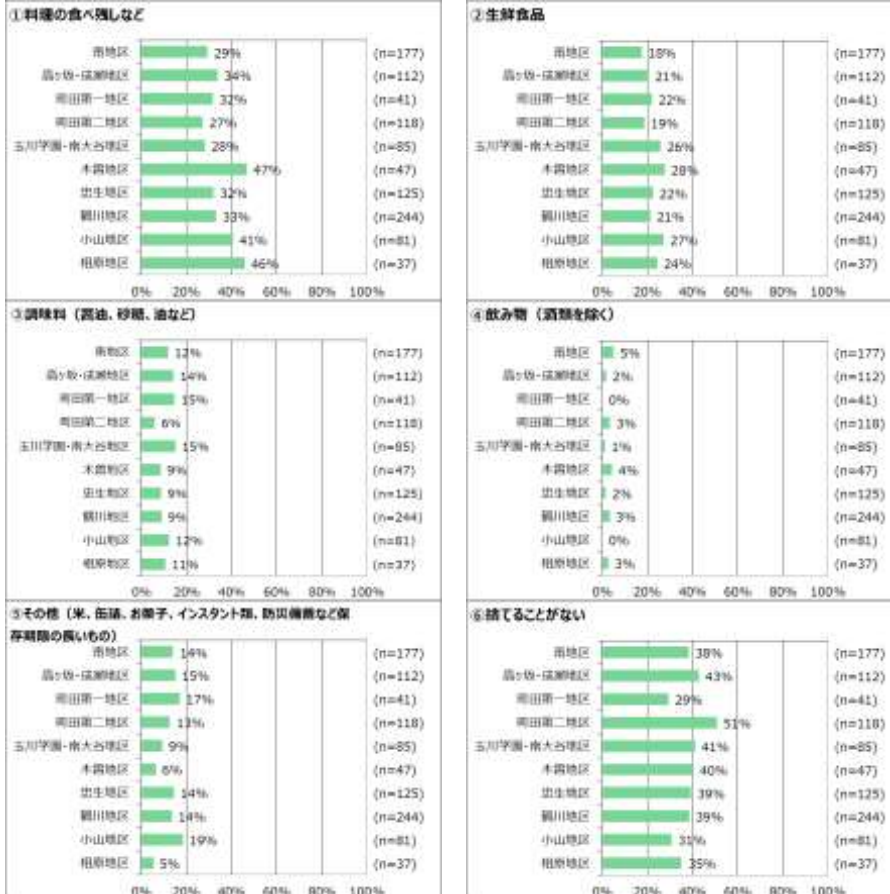
⑥捨てることのない



【結果の整理】

・年代別による大きな偏りはありません。

3) 地域別



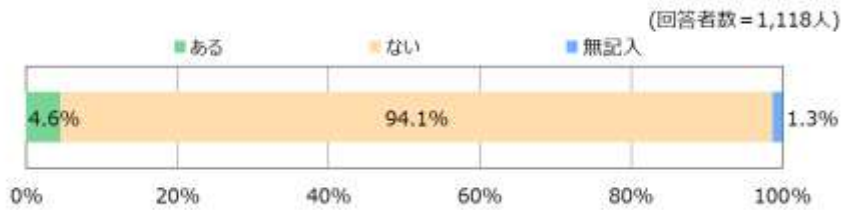
【結果の整理】

- ・地域別による大きな偏りはありません。

(6) 問 14-1 フードドライブの実施について

食品の寄付（フードドライブ）をしたことはありますか（1つ選択）。

1) 全体



【結果の整理】

・94.1%の市民が、フードドライブをしたことが「ない」と答えています。フードドライブをしたことが「ある」と答えた市民は4.6%に留まっています。

2) 年代別



【結果の整理】

・年代別による大きな偏りはありません。

3) 地域別



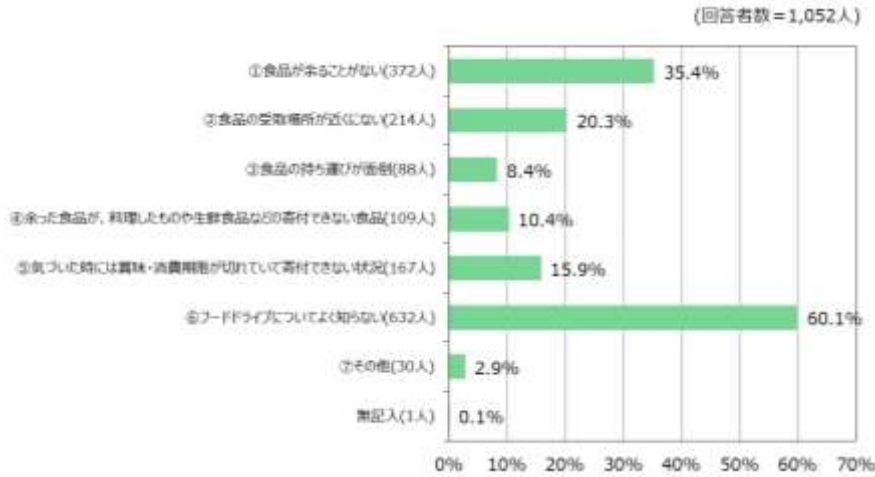
【結果の整理】

・地域別による大きな偏りはありません。

(7) 問 14-2 フードドライブをしたことがない理由

フードドライブをしたことがない理由を教えてください（全て選択）。

1) 全体



※ (6) 問 14-1 でフードドライブをしたことが「ない」と選択した方のみ回答。

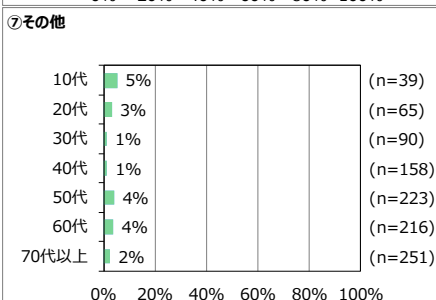
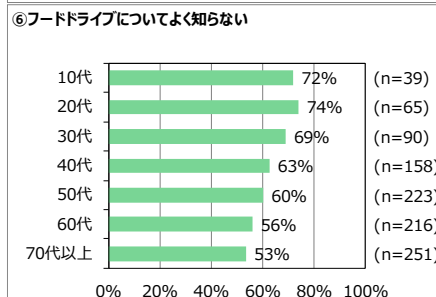
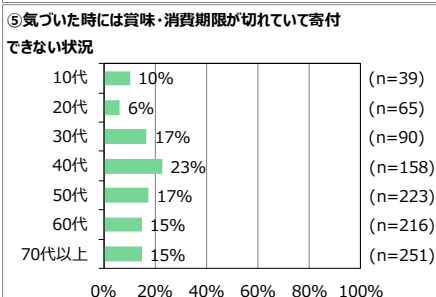
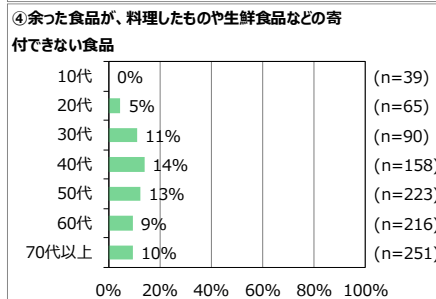
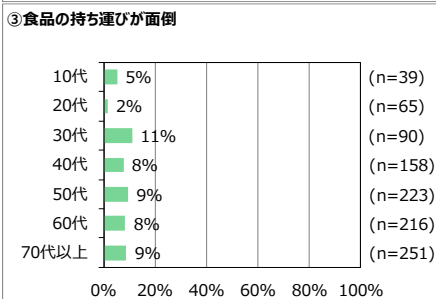
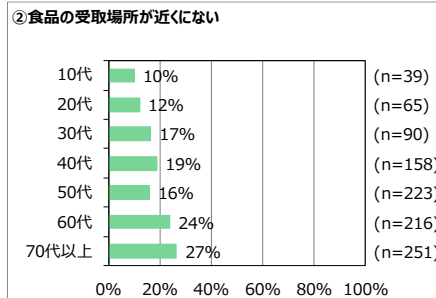
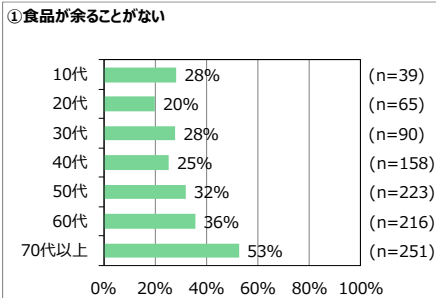
【主なその他意見】

- ・フードドライブ実施について、市などから情報や告知がない（10件）
 - ・内々で済ませてしまう（近所でおすそ分けなど）（2件）
 - ・食品の安全性など不安（1件）
- など

【結果の整理】

・60.1%の市民が「⑥フードドライブについてよく知らない」と答えています。次いで「①食品が余ることがない」（35.4%）、「②食品の受取場所が近くにない」（20.3%）が多く選ばれています。

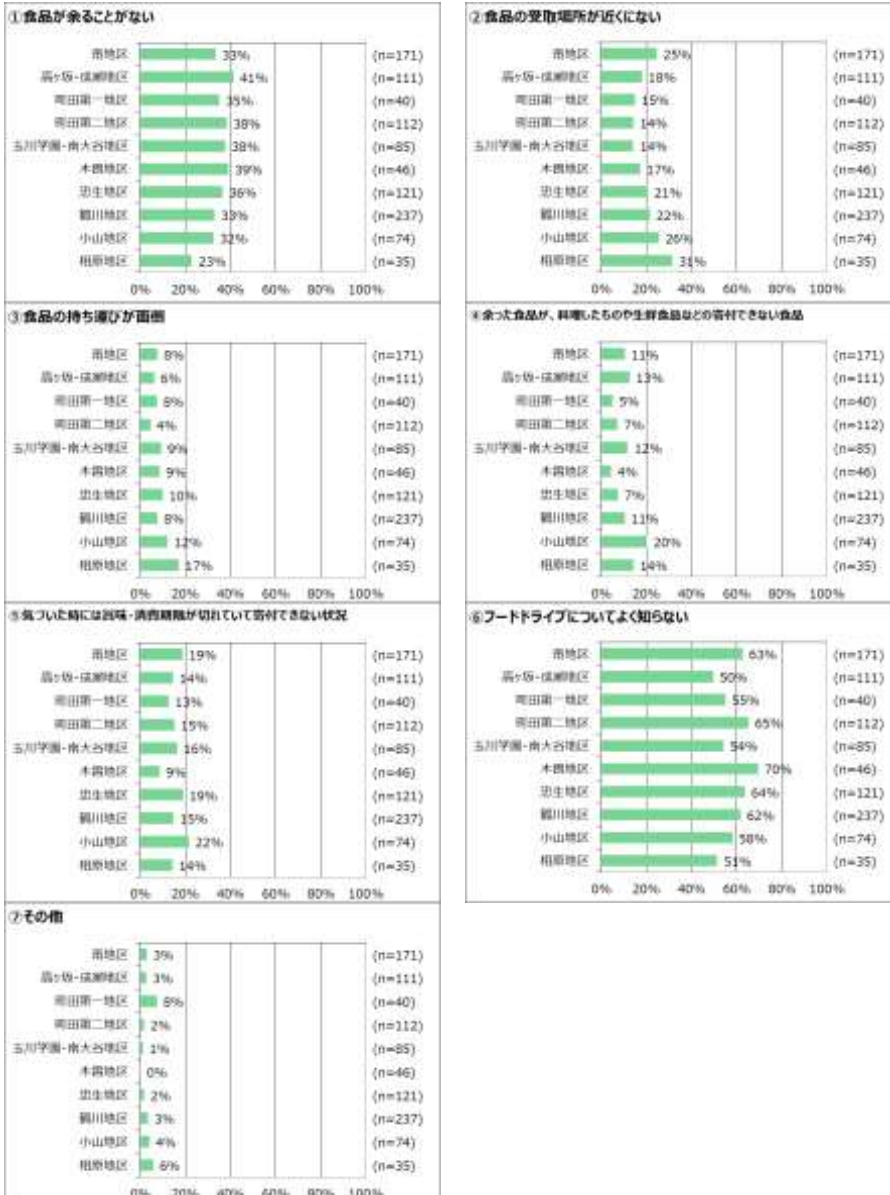
2) 年代別



【結果の整理】

- ・「①食品が余ることがない」は年代が上がるほど高くなっています。
- ・「⑥フードドライブについてよく知らない」は年代が下がるほど高くなっています。

3) 地域別



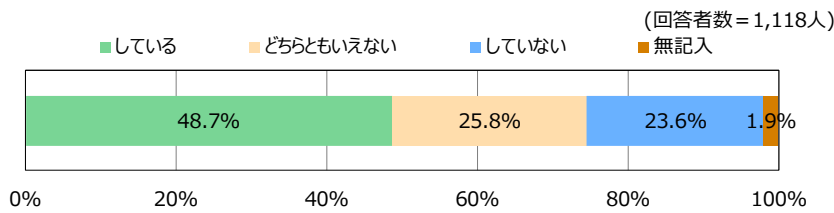
【結果の整理】

・「②食品の受取場所が近くにない」は相原地区で最も高く、町田第二地区、玉川学園・南大谷地区で低くなっています。

(8) 問 15 小型家電の処分方法について

火災の原因となるリチウムイオン電池などの小型充電式電池や電池が内蔵された小型家電の処分方法を理解していますか（1つ選択）。

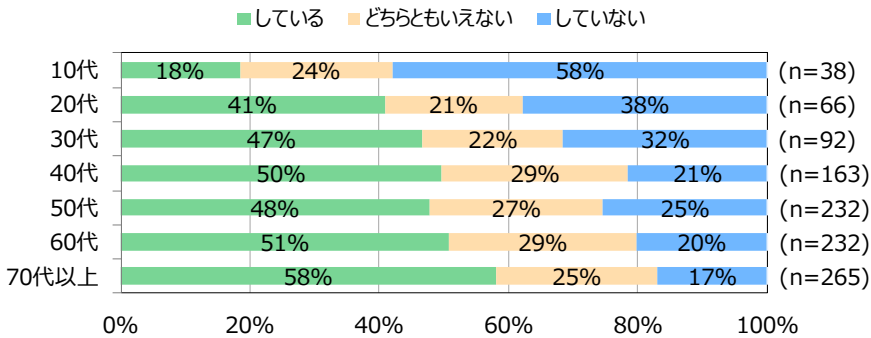
1) 全体



【結果の整理】

・48.7%の市民が小型家電の処分方法について理解「知っている」と答えています。一方、23.6%の市民が処分方法を理解「していない」、25.8%の市民が「どちらともいえない」と答えています。

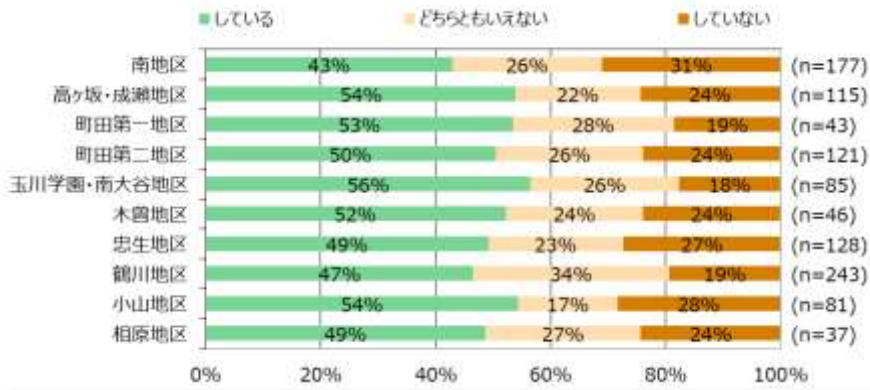
2) 年代別



【結果の整理】

・年代が上がるにつれ理解「知っている」割合が高くなっています。

3) 地域別



【結果の整理】

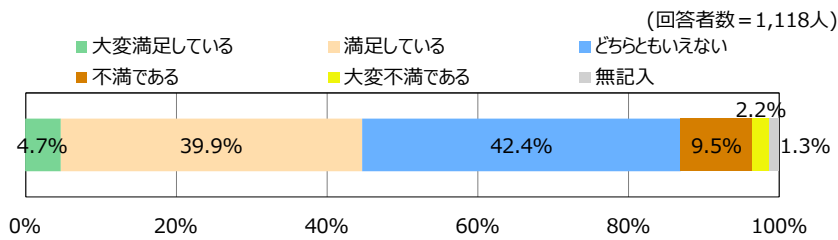
・地域別による大きな偏りはありません。

2.5生活環境について

(1) 問 16 まち並みや景観の満足度について

町田市内のまち並みや景観について満足していますか（1つ選択）。

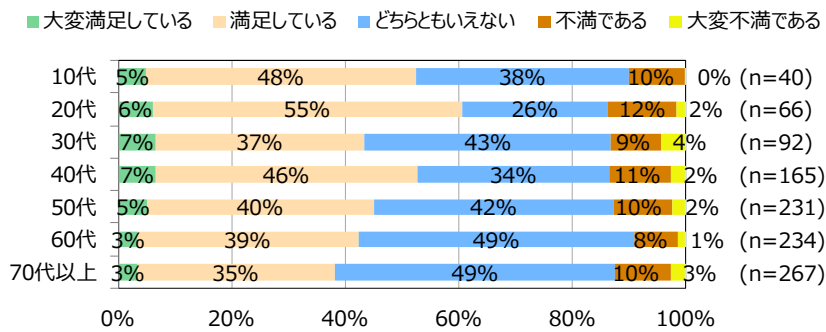
1) 全体



【結果の整理】

・約45%以上の市民が、まち並みや景観について「大変満足している（4.7%）」「満足している（39.9%）」と答えています。一方、約10%程度の市民が「不満である（9.5%）」「大変不満である（2.2%）」としており、42.4%の市民は「どちらともいえない」と答えています。

2) 年代別



【結果の整理】

・年代別による大きな偏りはありません。

3) 地域別



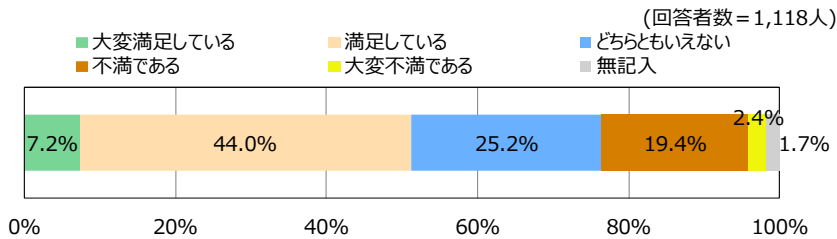
【結果の整理】

・地域別による大きな偏りはありません。

(2) 問 17-1 周辺の環境（大気、水質、騒音など）について

現在あなたがお住まいになっている周辺の環境（大気、水質、騒音など）について満足していますか（1つ選択）。

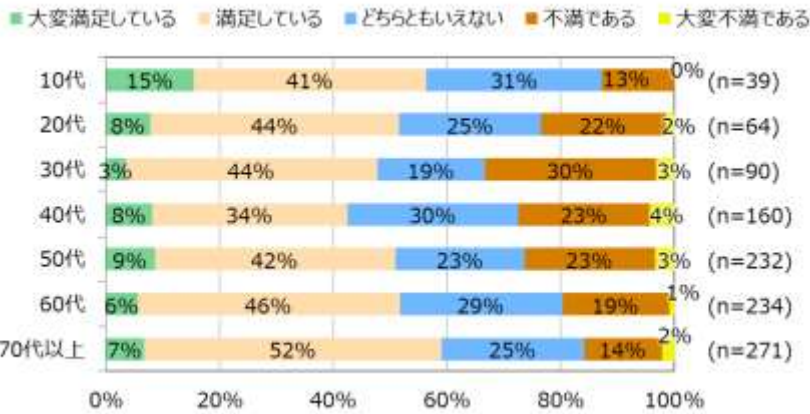
1) 全体



【結果の整理】

・50%以上の市民が、周辺の環境（大気、水質、騒音など）について「大変満足している（7.2%）」「満足している（44.0%）」と答えています。一方、約 20%の市民が「不満である（19.4%）」「大変不満である（2.4%）」としており、25.2%の市民は「どちらともいえない」と答えています。

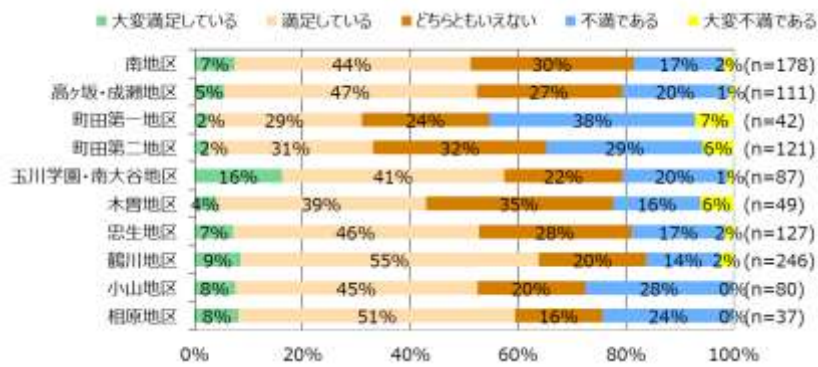
2) 年代別



【結果の整理】

・年代別による大きな偏りはありません。

3) 地域別



【結果の整理】

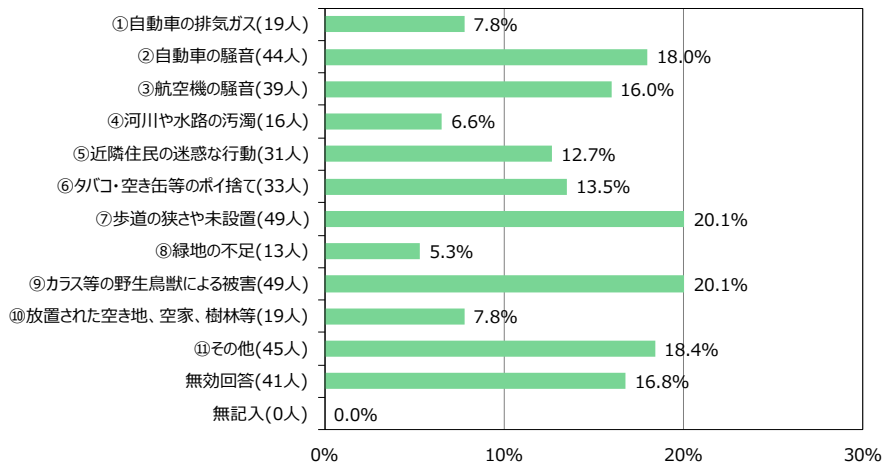
・玉川学園・南大谷地区で「大変満足している」割合が高くなっており、町田第一地区、町田第二地区で低くなっています。

(3) 問 17-2 周辺の環境について気になっていること

現在、あなたがお住まいになっている周辺の環境について、気になっていることは何ですか（2つまで選択）。

1) 全体

(回答者数 = 244人)



※1 (2) 問 17-1 で周辺の環境（大気、水質、騒音など）について「不満である」、「大変不満である」を選択の方のみ回答。

※2 無効回答は、3つ以上の選択をした回答者。

【主なその他意見】

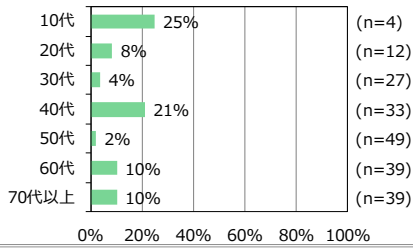
- ・自動車（バイク、トラック等）や近隣環境の騒音（15件）
- ・公共工事等による自然環境悪化（7件）
- ・近隣の衛生環境の悪化（道路、水質等）（14件） など

【結果の整理】

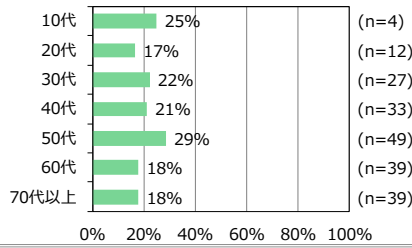
・周辺の環境について不満を感じている市民（「不満である」または「大変不満である」と回答した市民）のうち、20.1%の市民が「⑦歩道の狭さや未設置」、「⑨カラス等の野生鳥獣による被害」が気になっていると感じています。次いで「②自動車の騒音」（18.0%）が多く選ばれています。

2) 年代別

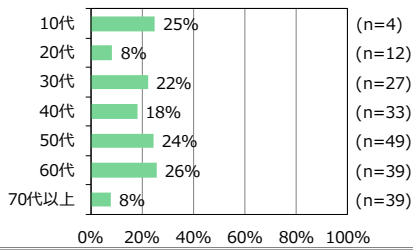
① 自動車の排気ガス



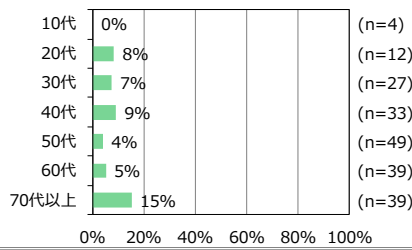
② 自動車の騒音



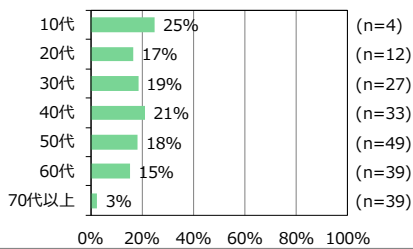
③ 航空機の騒音



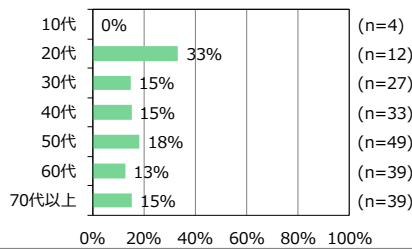
④ 河川や水路の汚濁



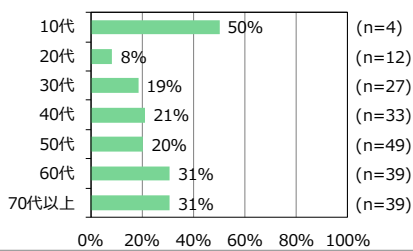
⑤ 近隣住民の迷惑な行動



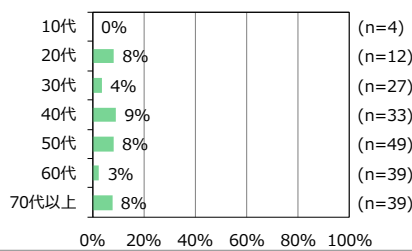
⑥ タバコ・空き缶等のポイ捨て



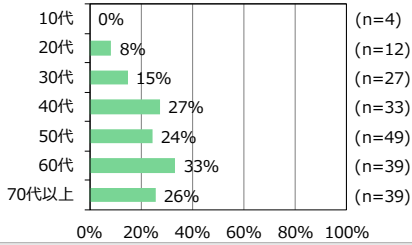
⑦ 歩道の狭さや未設置



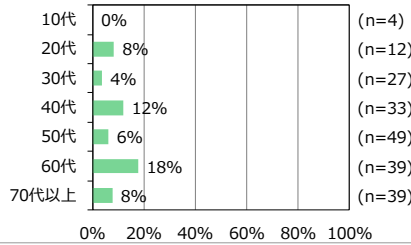
⑧ 緑地の不足



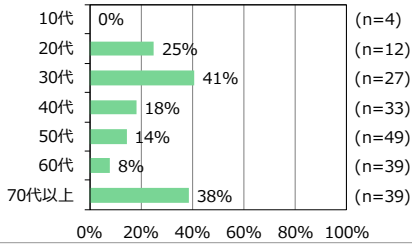
⑨カラス等の野生鳥獣による被害



⑩放置された空き地、空家、樹林等



⑪その他



【結果の整理】

- ・「⑥タバコ・空き缶等のポイ捨て」は 20 代が最も高くなっています。
- ・「⑦歩道の狭さや未設置」は 10 代が最も高くなっています。
- ・「⑨カラス等の野生鳥獣による被害」は 60 代が最も高くなっています。

3) 地域別

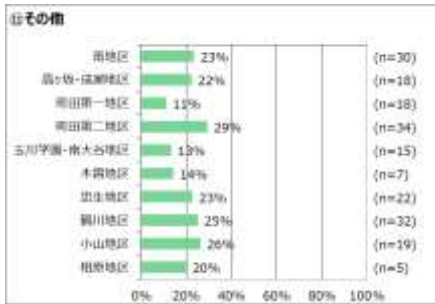
①自転車の排気ガス



②自転車の騒音







【結果の整理】

- ・「①自動車の排気ガス」、「②自動車の騒音」は南地区で最も高くなっています。
- ・「③航空機の騒音」は町田第一地区、玉川学園・南地区で高くなっています。
- ・「⑤近隣住民の迷惑な行動」は忠生地区で最も高くなっています。
- ・「⑦歩道の狭さや未設置」、「⑩放置された空き地、空家、樹林等」は相原地区が最も高くなっています。
- ・「⑨カラス等の野生鳥獣による被害」は木曽地区で最も高くなっています。

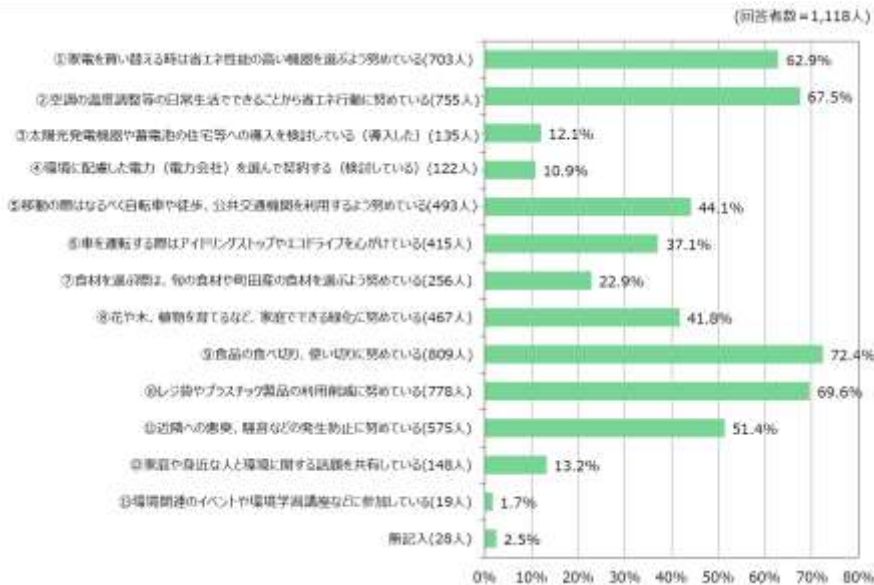
2.6環境に配慮した行動や市の取組について

(1) 問 18 環境に配慮した行動について

あなたは環境に配慮した以下の行動をしていますか（全て選択）。

1	家電を買い替える時は省エネ性能の高い機器を選ぶよう努めている
2	空調の温度調整等の日常生活でできることから省エネ行動に努めている
3	太陽光発電機器や蓄電池の住宅等への導入を検討している（導入した）
4	環境に配慮した電力（電力会社）を選んで契約する（検討している）
5	移動の際はなるべく自転車や徒歩、公共交通機関を利用するよう努めている
6	車を運転する際はアイドリングストップやエコドライブを心がけている
7	食材を選ぶ際は、旬の食材や町田産の食材を選ぶよう努めている
8	花や木、植物を育てるなど、家庭でできる緑化に努めている
9	食品の食べ切り、使い切りに努めている
10	レジ袋やプラスチック製品の利用削減に努めている
11	近隣への悪臭、騒音などの発生防止に努めている
12	家庭や身近な人と環境に関する話題を共有している
13	環境関連のイベントや環境学習講座などに参加している

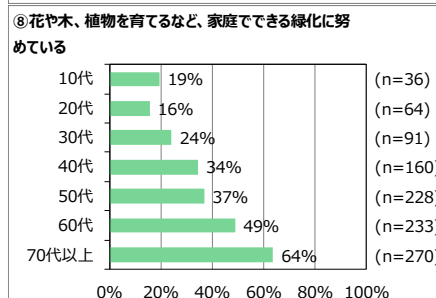
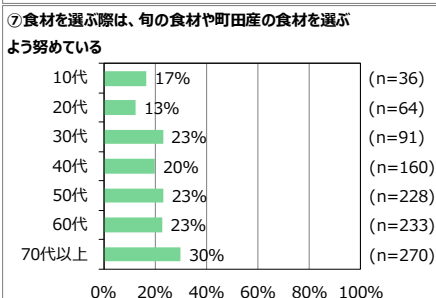
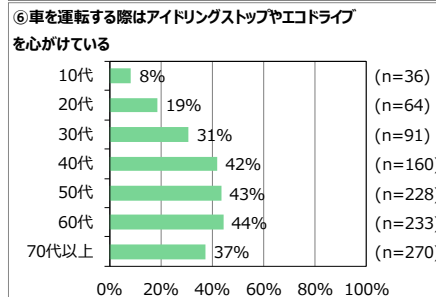
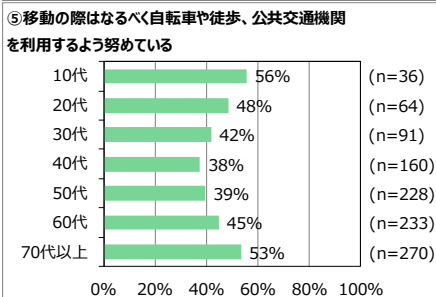
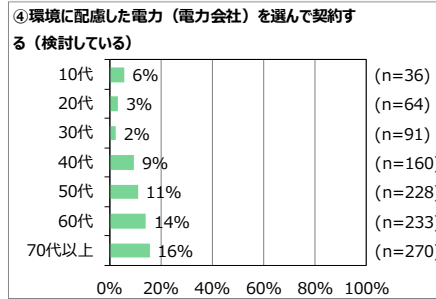
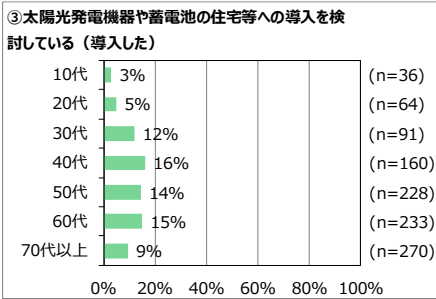
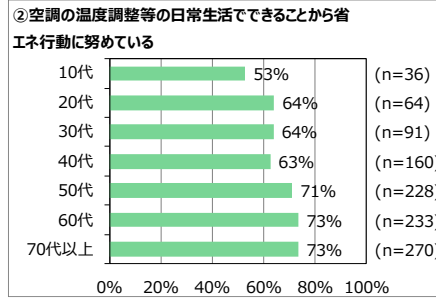
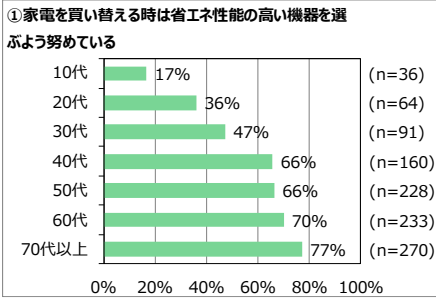
1) 全体



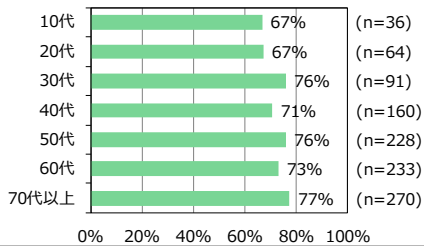
【結果の整理】

・環境に配慮した行動について、72.4%の市民が「⑨食品の食べ切り、使い切りに努めている」と答えています。次いで「⑩レジ袋やプラスチック製品の利用削減に努めている」（69.6%）、「②空調の温度調整等の日常生活でできることから省エネ行動に努めている」（67.5%）が多く選ばれています。

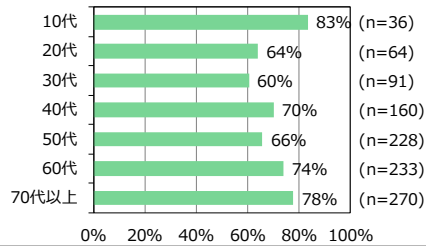
2) 年代別



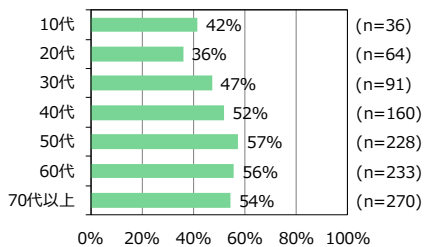
⑨食品の食べ切り、使い切りに努めている



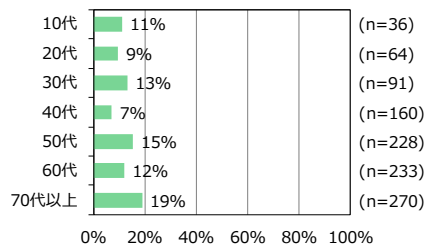
⑩レジ袋やプラスチック製品の利用削減に努めている



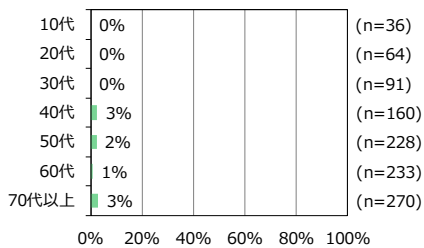
⑪近隣への悪臭、騒音などの発生防止に努めている



⑫家庭や身近な人と環境に関する話題を共有している



⑬環境関連のイベントや環境学習講座などに参加している

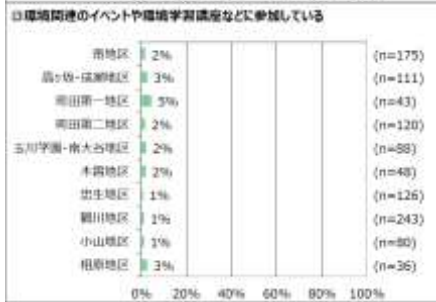


【結果の整理】

・「①家電を買い替える時は省エネ性能の高い機器を選ぶよう努めている」、「⑧花や木、植物を育てるなど、家庭でできる緑化に努めている」は年代が上がるほど実施率が高くなっています。

3) 地域別





【結果の整理】

・「⑩ 花や木、植物を育てるなど、家庭でできる緑化に努めている」は「相原地区（67%）」の実施率が高くなっています。

2.7 町田市が実施している取組について

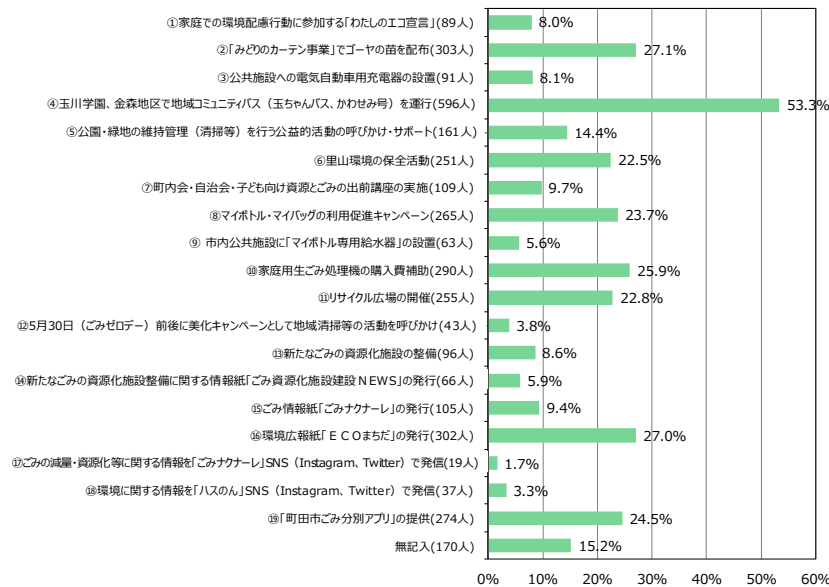
(1) 問 19 町田市の取組について

市が実施している以下の取組について、あなたが知っているもの（全て選択）。

1	家庭での環境配慮行動に参加する「わたしのエコ宣言」	11	リサイクル広場の開催
2	「みどりのカーテン事業」でゴーヤの苗を配布	12	5月30日（ごみゼロデー）前後に美化キャンペーンとして地域清掃等の活動呼びかけ
3	公共施設への電気自動車用充電器の設置	13	新たなごみの資源化施設の整備
4	玉川学園、金森地区で地域コミュニティバス（玉ちゃんバス、かわせみ号）を運行	14	新たなごみの資源化施設整備に関する情報紙「ごみ資源化施設建設NEWS」の発行
5	公園・緑地の維持管理（清掃等）を行う公益的活動の呼びかけ・サポート	15	ごみ情報紙「ごみナクナレ」の発行
6	里山環境の保全活動	16	環境広報紙「E C Oまちだ」の発行
7	町内会・自治会・子ども向け資源とごみの出前講座の実施	17	ごみの減量・資源化等に関する情報を「ごみナクナレ」SNS（Instagram、Twitter）で発信
8	マイボトル・マイバッグの利用促進キャンペーン	18	環境に関する情報を「ハスのん」SNS（Instagram、Twitter）で発信
9	市内公共施設に「マイボトル専用給水器」の設置	19	「町田市ごみ分別アプリ」の提供
10	家庭用生ごみ処理機の購入費補助		

1) 全体

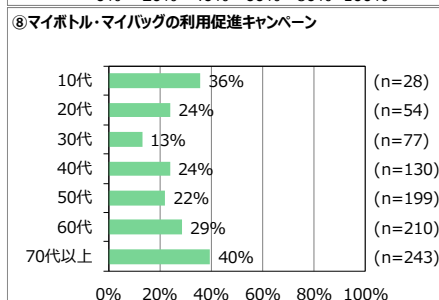
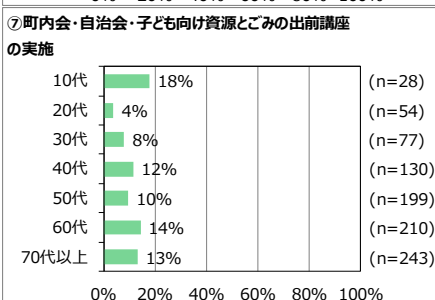
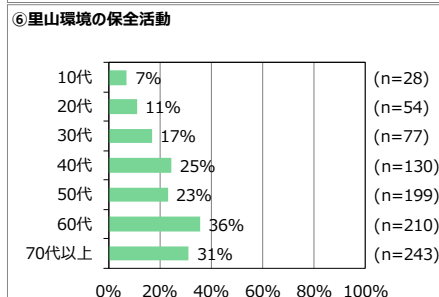
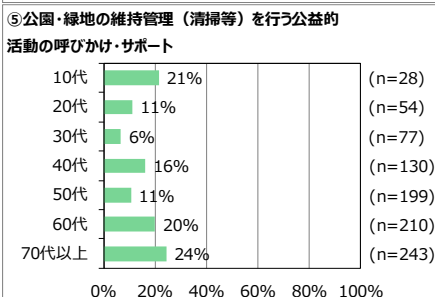
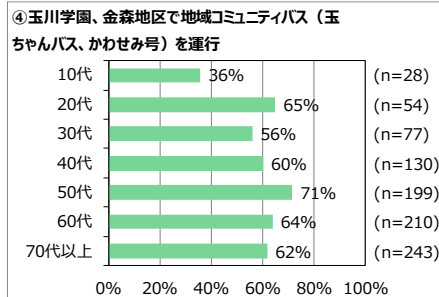
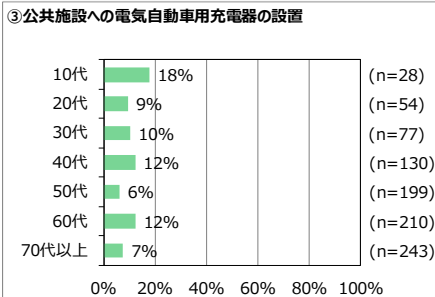
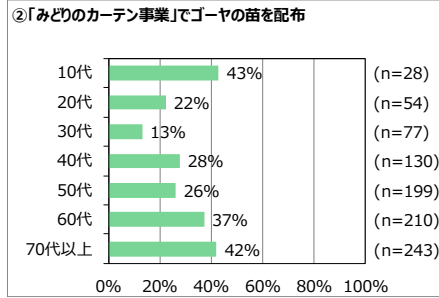
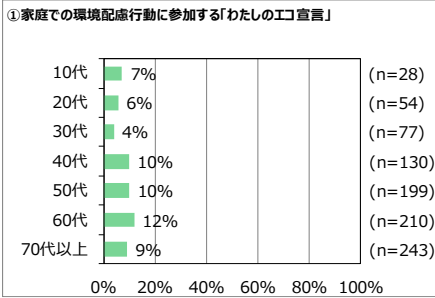
(回答者数 = 1,118人)

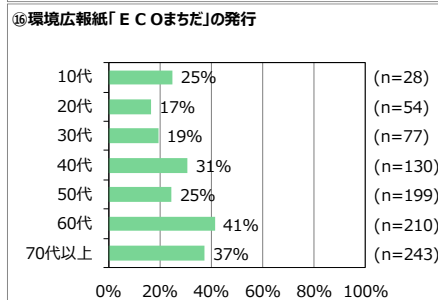
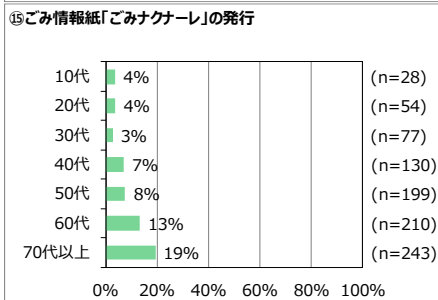
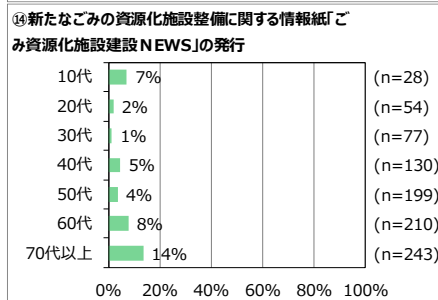
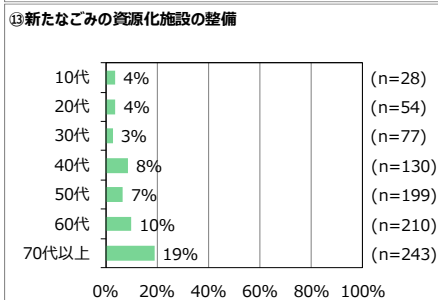
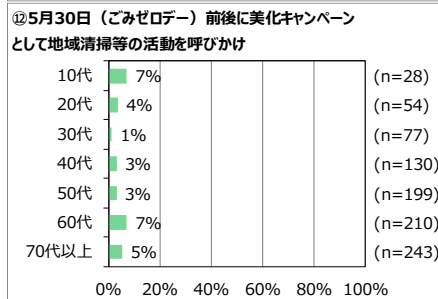
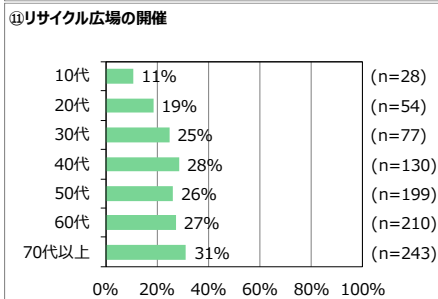
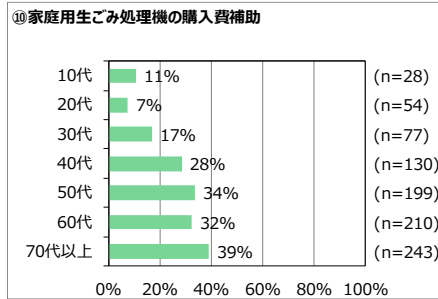
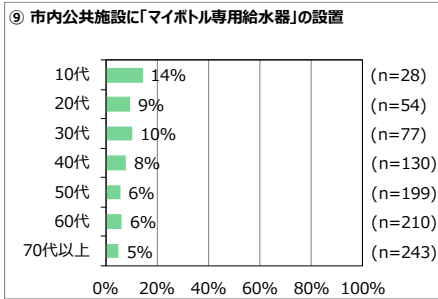


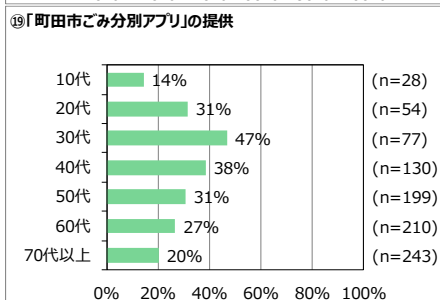
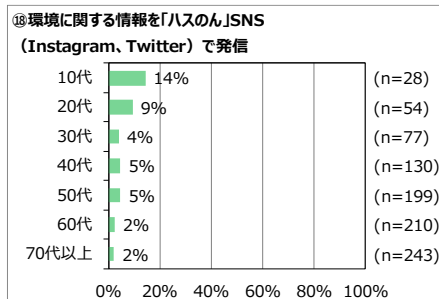
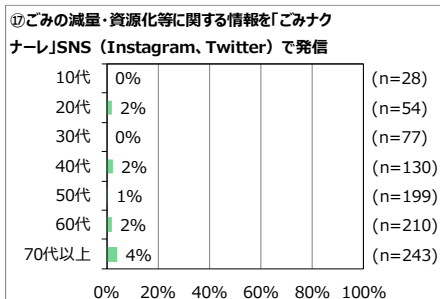
【結果の整理】

・53.3%の市民が、市の取組として「④玉川学園、金森地区で地域コミュニティバス（玉ちゃんバス、かわせみ号）を運行」について知っていると答えています。その他「②「みどりのカーテン事業」でゴーヤの苗を配布」（27.1%）、「⑯環境広報紙「E C Oまちだ」の発行」（27.0%）が知られています。

2) 年代別



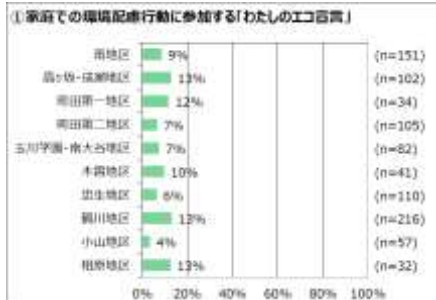




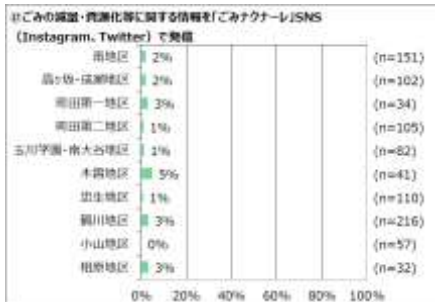
【結果の整理】

- ・「⑥里山環境の保全活動」「⑩家庭用生ごみ処理機の購入費補助」「⑮ごみ情報紙「ごみナクナール」の発行」は年代が上がるほど認知度が高くなっています。
- ・「⑱環境に関する情報を「ハスのん」SNS (Instagram、Twitter) で発信」は年代が下がるほど認知度が高くなっています。
- ・「⑲「町田市ごみ分別アプリ」の提供」は 30 代で最も認知度が高くなっています。

3) 地域別







【結果の整理】

・「④玉川学園・金森地区で地域コミュニティバス（玉ちゃんバス、かわせみ号）を運行」は「玉川学園・南大谷地区」「高ヶ坂・成瀬地区」の認知度が高く、「相原地区」「小山地区」の認知度が低くなっています。

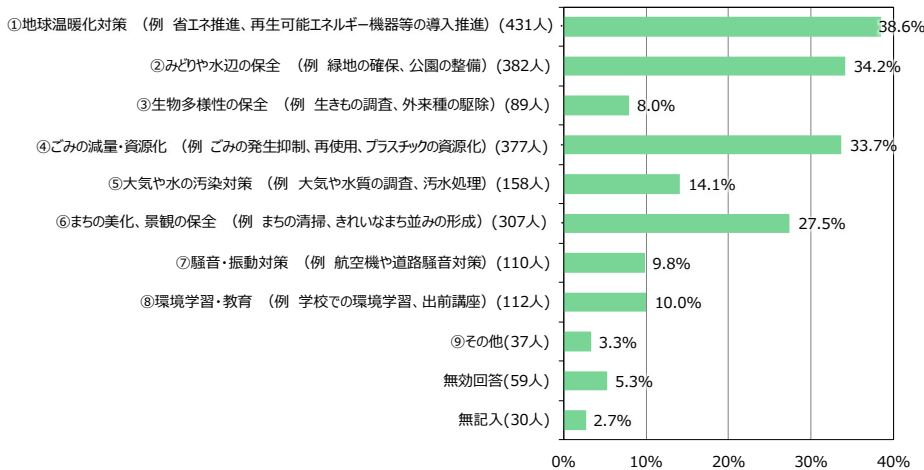
(2) 問 20 市が力を入れていくべき取組について

町田市では環境全般に関する以下のような取組をしています。この中で今後も力をいれていくべきだと思うものについて（2つまで選択）。

1	地球温暖化対策（例 省エネ推進、再生可能エネルギー機器等の導入推進）
2	みどりや水辺の保全（例 緑地の確保、公園の整備）
3	生物多様性の保全（例 生きもの調査、外来種の駆除）
4	ごみの減量・資源化（例 ごみの発生抑制、再利用、プラスチックの資源化）
5	大気や水の汚染対策（例 大気や水質の調査、汚水処理）
6	まちの美化、景観の保全（例 まちの清掃、きれいなまち並みの形成）
7	騒音・振動対策（例 航空機や道路騒音対策）
8	環境学習・教育（例 学校での環境学習、出前講座）
9	その他

1) 全体

(回答者数 = 1,118人)



※ 無効回答は、3つ以上の選択をした回答者。

【主なその他意見】

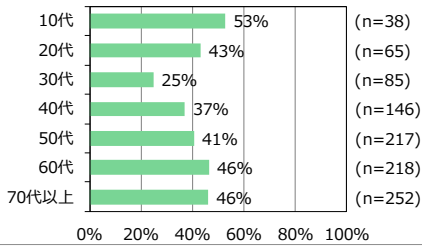
- ・住宅環境（空き家、ごみ等が放置されている家等）の対策（4件）
- ・道路等のインフラ整備（6件）
- ・地域環境（猫の放し飼い等）の改善（17件） など

【結果の整理】

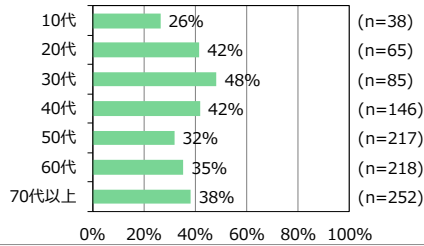
・市が力を入れていくべき取組について、38.6%の市民が「①地球温暖化対策（例 省エネ推進、再生可能エネルギー機器等の導入推進）」を挙げています。次いで「②みどりや水辺の保全（例 緑地の確保、公園の整備）」（34.2%）、「④ごみの減量・資源化（例 ごみの発生抑制、再利用、プラスチックの資源化）」（33.7%）が多く挙げられています。

2) 年代別

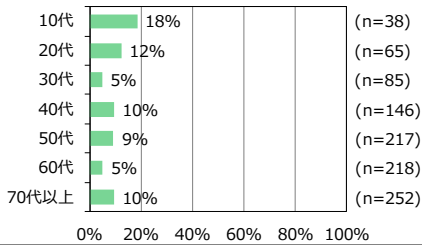
①地球温暖化対策（例 省エネ推進、再生可能エネルギー機器等の導入推進）



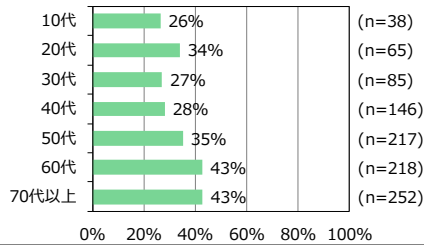
②みどりや水辺の保全（例 緑地の確保、公園の整備）



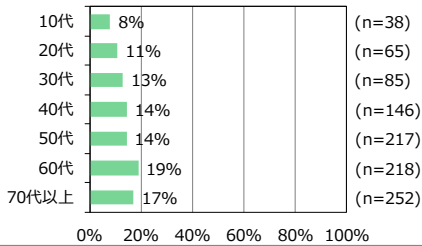
③生物多様性の保全（例 生きもの調査、外来種の駆除）



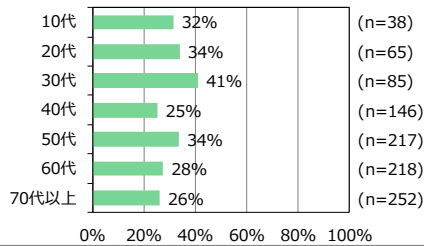
④ごみの減量・資源化（例 ごみの発生抑制、再利用、プラスチックの資源化）



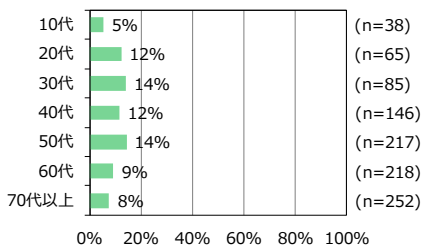
⑤大気や水の汚染対策（例 大気や水質の調査、汚水処理）



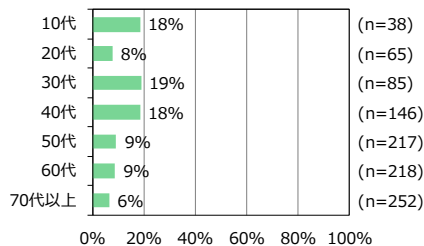
⑥まちの美化、景観の保全（例 まちの清掃、きれいなまち並みの形成）



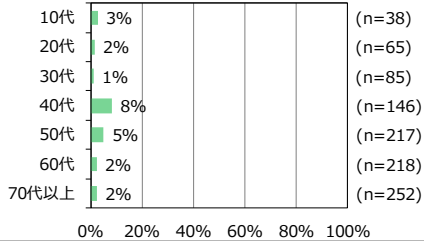
⑦騒音・振動対策（例 航空機や道路騒音対策）



⑧環境学習・教育（例 学校での環境学習、出前講座）



⑨その他

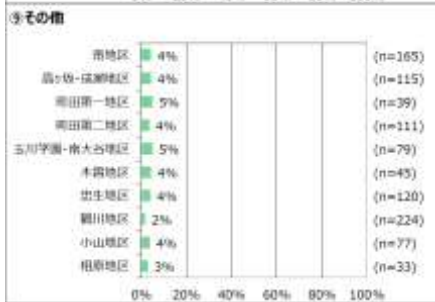


【結果の整理】

・「①地球温暖化対策」は10代が最も高くなっています。

3) 地域別





【結果の整理】

- ・「⑥まちの美化、景観の保全」に対して、「町田第一地区」の要望が高くなっています。
- ・「⑦騒音・振動対策」に対して、「町田第一地区」の要望が高くなっています。